



令和5年度版

置賜地域の概況

令和5年7月

山形県置賜総合支庁

目 次

1	置賜地域の主要指標.....	1
2	置賜地域の概要	
	（1）位置と地勢、土地利用、気象.....	2
	（2）置賜の由来と歴史.....	3
3	人口及び世帯数.....	5
4	経済の概況	
	（1）総生産額.....	6
	（2）就業人口.....	”
	（3）地域別経済規模.....	”
5	製造業	
	（1）事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額.....	9
	（2）構造の特色.....	10
	（3）農工団地の現況.....	11
	（4）工場立地の動向.....	12
6	商業	
	（1）商店数、従業者数、年間販売額.....	13
	（2）購買依存率.....	”
	（3）大規模小売店舗の状況.....	15
7	雇用・労働	
	（1）労働相談状況.....	16
	（2）労働組合数及び組合員数.....	”
	（3）離職者の状況.....	”
	（4）求人・求職者の状況.....	17
	（5）新規学卒者の就職状況.....	”
8	観光.....	19
9	農業及び林業	
	（1）農林水産業の主要指標.....	22
	（2）専・兼業別農家数及び農家人口等.....	23
	（3）認定農業者等.....	24
	（4）農業法人の状況.....	26

(5) 土地利用型作物の栽培状況.....	26
(6) 園芸作物の栽培状況.....	27
(7) エコファーマーの認定状況.....	28
(8) 特別栽培農産物の認証状況.....	29
(9) 家畜飼養状況.....	”
(10) 農業農村整備の概況.....	30
(11) 森林の概況.....	32
10 教育、文化及び県民生活	
(1) 学校数及び児童・生徒・学生数.....	34
(2) 進学及び就職状況.....	38
(3) 主な文化施設.....	41
(4) 主な伝統文化.....	42
(5) 主な文化財.....	43
(6) 県民活動・NPOの状況.....	44
(7) 交通事故発生状況.....	45
(8) 火災発生状況.....	46
(9) 自主防災組織の整備状況.....	47
11 環境	
(1) 廃棄物対策.....	48
(2) 環境保全対策.....	50
(3) 自然環境の保全等.....	51
(4) 地球温暖化防止対策.....	54
12 保健福祉と医療	
(1) 保健・福祉・医療の主要指標.....	55
(2) 生活保護の現況.....	56
(3) 高齢者福祉の現況.....	57
(4) 介護保険、要支援・要介護認定の現況.....	”
(5) 少子化の現況.....	59
(6) 児童福祉の現況.....	60
(7) 障がい福祉の現況.....	61
(8) 医療関係施設の現況.....	62

(9) 基準病床数.....	63
(10) 死因別死亡数.....	64
13 社会資本	
(1) 道路の現況.....	65
(2) 鉄道の現況.....	66
(3) 河川の現況.....	67
(4) 砂防の現況.....	”
(5) ダムの整備状況.....	68
(6) 上水道の普及状況.....	”
(7) 都市計画の現況.....	69
(8) 県営住宅の整備状況.....	70
(9) 飛行場の整備状況.....	”
14 県税の状況.....	71
15 置賜地域各市町の行財政と将来ビジョン.....	72
16 地域指定.....	80
17 置賜地域の市町一覧.....	81
18 第4次山形県総合発展計画 置賜地域の発展方向(概要).....	82

置賜地域の主要指標

(5月末現在)

項目	年次	単位	山形県 (A)	管内 (B)	米沢市	長井市	南陽市	高島町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町	B/A (%)	
総面積	5	km ²	9,323.15	2,495.24	548.51	214.67	160.52	180.26	166.60	737.56	157.71	329.41	26.8	
人口 年齢構成	総人口	4	人	1,040,971	195,994	79,601	25,765	29,544	21,720	13,854	6,811	12,386	6,313	18.8
	年少人口 (0~14)	4	人	113,436	20,772	8,277	2,743	3,277	2,522	1,375	618	1,286	674	18.3
	生産年齢人口 (15~64)	4	人	565,527	106,408	45,979	13,537	15,885	11,645	6,810	3,362	6,104	3,086	18.8
	老年人口 (65~)	4	人	362,008	68,814	25,345	9,485	10,382	7,553	5,669	2,831	4,996	2,553	19.0
	老年人口割合	4	%	34.8	35.1	31.8	36.8	35.1	34.8	40.9	41.6	40.3	40.4	
県内総生産額	1	億円	43,367	8,199	4,029	973	1,014	687	404	394	396	302	18.9	
1人当たり県民所得	1	千円	2,901	2,810	3,070	2,760	2,715	2,508	2,297	3,232	2,455	2,674	96.9	
就業人口	第1次産業 (構成比)	2	千人	48.7	8.6	1.5	1.0	1.5	1.7	1.3	0.3	0.7	0.6	17.7
			(%)	8.7	8.0	3.5	6.8	9.4	13.8	16.4	8.2	10.6	16.8	
	第2次産業 (構成比)	2	千人	160.6	37.6	14.8	5.3	5.2	4.4	2.5	1.6	2.5	1.2	23.4
			(%)	28.6	35.0	34.5	38.1	31.8	35.9	32.3	43.6	37.0	34.4	
	第3次産業 (構成比)	2	千人	353.1	61.2	26.7	7.7	9.6	6.2	3.9	1.7	3.5	1.8	17.3
		(%)	62.8	57.0	62.1	55.1	58.8	50.3	51.2	48.2	52.4	48.8		
計		千人	562.5	107.3	43.1	14.0	16.3	12.4	7.7	3.6	6.7	3.6	19.1	
農業	総農家数	2	戸	39,628	7,766	1,301	1,005	1,107	1,210	1,117	360	1,104	562	19.6
	販売農家数	2	戸	26,796	5,000	758	612	769	903	837	180	478	463	18.7
	基幹的農業従事者数	2	人	39,034	7,067	1,061	789	1,295	1,519	1,137	161	583	522	18.1
	耕地面積	4	ha	115,000	23,500	4,400	2,920	2,570	3,750	4,900	1,020	1,860	2,080	20.4
	水稲収穫量	4	t	365,300	72,470	13,700	10,100	6,740	11,900	17,300	2,140	4,340	6,250	19.8
森林面積	3	ha	671,090	191,887	41,958	14,647	9,590	10,494	7,855	69,368	10,193	27,781	28.6	
工業	製造品出荷額等	1	億円	28,456	8,539	5,865	500	573	547	264	359	227	203	30.0
	従業者1人当たり	1	万円	2,816	3,239	5,179	1,369	1,768	1,868	1,978	2,783	1,403	2,084	-
	付加価値額	1	億円	10,785	2,648	1,445	246	273	199	93	218	102	72	24.6
	食料・飲料等	2	億円	3,666	319+x	162	13+x	47	127	x	x	x	x	-
	繊維	2	億円	422	119	62	1	45	x	2	x	5	x	33.4
	土石	2	億円	1,120	523	213	24	27	x	0	217	x	0	48.8
	金属	2	億円	1,027	281	107	83	42	17	x	0	x	18	27.4
	機械	2	億円	3,032	906	461+x	71+x	65+x	141+x	9	x	30+x	x	28.3
	電子	2	億円	5,848	1,169	908	88	28	72	x	0	x	x	18.9
	電機	2	億円	1,484	752	443	12	211	34	5	0	x	x	54.2
情報	2	億円	3,205	2,726	2,686	x	0	x	x	x	0	0	89.5	
工場立地件数	3	件	26	4									25.0	
商業	小売業販売額	28	億円	11,597	2,083	1,015	312	337	144	101	46	92	37	18.0
	従業者1人当たり	28	千円	19,945	18,639	19,618	19,871	18,648	16,060	17,343	13,636	16,688	14,129	93.5
	卸売業販売額	28	億円	13,285	1,226	817	174	87	129	8	2	3	5	9.2
従業者1人当たり	28	千円	64,663	41,973	45,403	35,113	33,585	53,197	12,353	16,663	12,052	22,905	64.9	
その他	観光者数	3	万人	3,006	623	245	88	61	53	40	28	61	47	20.7
	高校等進学率	4	%	99.5	99.1	99.1	99.5	99.6	99.5	96.9	98.3	99.0	100.0	
	大学等進学率	4	%	49.5	47.3	46.3	52.3	47.3	44.2	41.1	47.1	54.2	47.8	
	高卒県内就職率	4	%	80.2	78.9	73.3	78.2	85.2	86.2	80.6	88.2	86.2	60.0	

注：単位未満四捨五入のため、各数の計は一致しない場合がある。

〇・・・四捨五入のため単位未満のもの X・・・秘密の保持上、秘匿のもの 空欄・・・該当数値なし

資料：

- ①「総面積」は、「令和5年全国都道府県市区町村別面積調(R5.1.1現在)」による。
- ②「人口」は、「令和4年山形県の人口と世帯数」による。なお、総人口には年齢不詳を含む。
- ③「県内総生産額」「一人当たり県民所得」は、「令和元年度市町村民経済計算」による。
- ④「就業人口」は、「令和2国勢調査就業状態等基本集計結果報告書」(山形県企画振興部)による。
※計には、「分類不能の産業」を含む
※構成比は、分母から「分類不能の産業」を除いて計算している
- ⑤「農業」は、「2020年農林業センサス」、「作物統計調査」、「東北農政局市町村別統計」、「令和3年度山形県林業統計」による。
※「基幹的農業従事者」とは、個人経営体でふだん農業に従事している15歳以上の者。
- ⑥「工業」は、「山形県の工業-令和3年経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書-」による。(従業員4人以上の事業所)
※山形県全体の従業者一人当たりの製造品出荷額等は、「消費税を除く国内消費税額」と「推計消費税額」を除いている。
- ⑦「工場立地件数」は、「2021年工場立地動向調査結果」による。
- ⑧「商業」は、「平成28年山形県の商業 平成28年経済センサス-活動調査(卸売業・小売業)に関する結果報告書」による。
- ⑨「観光者数」は、「令和3年度山形県観光者数調査」による。
- ⑩「高校・大学等進学率」及び「高卒県内就職率」は、「令和4年度学校基本調査報告書」による。

2 置賜地域の概要

(1) 位置と地勢、土地利用、気象

置賜地域は、東北地方山形県の南部に位置し、東南置賜（米沢市、南陽市、高島町、川西町）、西置賜（長井市、小国町、白鷹町、飯豊町）の3市5町からなっている。東西最大56km、南北最大57kmの総面積2,495.24k㎡を有し、県総面積の26.8%を占めている。

南方は吾妻山地・飯豊山地を境に福島県及び新潟県に、東方は奥羽山脈を境に宮城県及び福島県に、北方は朝日山地・白鷹山を境に村山地域に、西方は朝日山地を境に新潟県に接している。位置的に置賜の中心は北緯38度、東経140度にあり、同緯度の都市としてワシントン、アテネ、リスボン、ソウル等の都市がある。

明治時代、英国の女性旅行家イザベラ・バードがこの地を訪れたとき、その実り豊かな大地と人情の温かさから“東洋のアルカディア（理想郷）”と称した土地でもある。米沢、長井、小国の各盆地からなる地形環境は、磐梯朝日国立公園や県南県立自然公園などの優れた景観に赤湯・小野川・白布といった多様な温泉、四季折々の花回廊や独特の食文化を生み出している。

山形県の“母なる川”最上川（松川）の最上流部に当たる米沢市は、中世以降城下町として発展し、伊達氏や上杉氏にまつわる史跡も多い。かつて大谷地が広がっていた南陽市、高島町や川西町には、縄文・古墳時代の遺跡や古社・古刹などの名所旧跡が今なお残る。

最上川と飯豊山系に源を発する置賜白川・野川などとの合流地点には長井市が位置し、良質で豊富な水量に恵まれ、米沢藩の舟運流通の中心地として、紅花の産地である白鷹町とともに遠く関西などとの交易で栄えた。日本海側との玄関口である小国町や、田園散居集落が広がる飯豊町は、豪雪地帯である一方で、わが国有数の豊かな自然環境を有する地域である。

土地利用状況は、森林が1,918k㎡、農用地が237k㎡、水面・河川・水路・道路が117k㎡、住宅地・工場用地等が69k㎡となっている。

◇県土の利用形態別面積（令和3年10月1日現在）

（単位：k㎡、%）

		森林	農用地	原野	水面・河川 水路・道路	住宅地・ 工場用地等	その他	計
山形県	面積 (構成比)	6,710 (72.0)	1,161 (12.5)	8 (0.1)	527 (5.7)	294 (3.2)	624 (6.7)	9,323
	対県比	28.6	20.4	25.0	22.2	23.5	24.4	26.8
置賜	面積 (構成比)	1,918 (77.0)	237 (9.5)	2 (0.1)	117 (4.7)	69 (2.8)	152 (6.0)	2,495
	対県比	28.6	20.4	25.0	22.2	23.5	24.4	26.8

注：四捨五入のため合計と内訳の計が一致しないことがある。

資料：令和3年山形県統計年鑑

◇県内地域別気象（令和4年）

	平均気温	年降水量	平均風速	年間日照時間	最深積雪
置賜（米沢）	11.6℃	1,712.0mm	1.4m/秒	1,687時間	154cm
村山（山形）	12.6℃	1,177.5mm	1.8m/秒	1,744時間	88cm
最上（新庄）	11.5℃	2,421.5mm	2.6m/秒	1,432時間	176cm
庄内（酒田）	13.6℃	2,113.5mm	4.2m/秒	1,657時間	43cm

資料：気象庁HP

置賜地域



(2) 「置賜」(おきたま)の由来と歴史

「置賜」という言葉は、もともと「u-ki-tomam」(“ウキタム”「広い、葦のはえている、谷」という意味)のアイヌの言葉に由来するといわれており、優嗜曇の字をあてはめたものと思われる。歴史上最初に出てくるのは「日本書紀」であり(陸奥国優嗜曇郡)、その後「延喜式」には「オイタム」の訓がふられている。

「置賜郡」という言葉は古来より使用されており、訓示方はいろいろと見受けられるが、江戸時代の上杉藩から勘定所へ提出した「出羽国置賜郡村仮名附帳」には「ヲイタマ」とあり、「オイタマ」も広く用いられていたのではないと思われる。

明治時代に入り、山形県の前身のひとつとなる「置賜県」が「米沢県」から改称して成立した(明治4年11月)頃には「オキタマケン」と言われていた。このころから、公的には「オキタマ」という呼び名が急速に普及したものと考えられる。明治11年には「郡区町村編成法」により置賜郡は南置賜郡、西置賜郡、東置賜郡に分割され、郡役所が置かれた。詳細な資料は見あたらないが、ここでも「オキタマケン」とある。

現在、行政地名としては「オキタマ」が定着しており、「オイタマ」という呼称を使用している例は少なくなっている。

◇原始・古代

小国町を中心に旧石器時代の遺跡があり、縄文時代の遺跡も一円に確認されている。当時は平地も豊かな食料をもたらす落葉広葉樹林におおわれていたものと思われ、かつての大谷地の中心にある遺存湖、白竜湖周辺の日向洞窟遺跡(高島町)の約1万年前の地層からは、山形県最古の土器の一つが出土している。

古墳時代の古墳は多数確認されているが、中でも全長96mの稲荷森古墳(南陽市)は、大型前方後円墳の日本海側最北限とされている。

奈良時代になると、置賜郡として陸奥国に属したが、和銅5(712)年には、最上郡(現在の村山、最上地域)とともに出羽国に編入され、出羽国はほぼ現在の山形県の範囲となった。

平安時代中期の和名類聚抄では、置賜郡内には置賜、広瀬、屋代、赤井、宮城、長井等の郷名が見られる。後期以降は、成島荘、屋代荘、北条荘といった荘園が成立していった。

◇中世・近世

鎌倉時代に入ると、奥州藤原氏攻めに功績のあった関東武士団が各地の地頭に任命された。置賜地域では大江氏が土着し、長井氏を称して地方領主となっていった。

南北朝期になると、福島盆地を基盤とする伊達氏が長井氏を滅ぼして置賜地域に進出し、戦国期にはその本拠を置賜地域に移した。永禄10(1567)年米沢に生まれた、独眼竜の異名を持つ政宗の代になると、米沢城を拠点に置賜や現在の宮城県南部、浜通りを除く福島県を版図とする南奥羽最大の大名となった。伊達氏が豊臣秀吉の奥羽仕置により国替えとなった後は、置賜は蒲生領を経て現在の会津・福島・庄内地域等とともに上杉氏の所領となり、米沢城には重臣・直江兼続が入った。

関が原の戦い後の慶長6(1601)年、敗れた西軍方の上杉景勝が本拠を会津若松城から米沢城に移し、米沢藩が成立した。当初は福島盆地の伊達・信夫と長井(置賜)の三郡を領有したものの、後に置賜以外の領地を失うなど減封を重ねたことにより、財政は疲弊した。しかし、九代藩主治憲(鷹山)の改革等により存続し、幕末には仙台藩とともに奥羽越列藩同盟の中心となった。

◇近代・現代

米沢藩は明治4(1871)年、廃藩置県により米沢県に置き換えられ、その後置賜県と改称した後、明治9(1876)年の山形県(第二次)・鶴岡県との三県合併を経て、現在の山形県を形成した。県置賜支庁がほどなくして廃止された後、昭和17(1942)年に戦時体制下の機関として東南置賜・西置賜の各地方事務所が設置されていたが、平成13(2001)年に管内の出先機関と統合し、新たに「地域振興の拠点」として置賜総合支庁が設置された。

市町村の状況では、明治22(1889)年に市制・町村制が施行されると、米沢は全国30の都市とともに初めての市となり、1市2町(宮内、長井)46村の体制となった。その後は市町村の廃置分合が進み、昭和42(1967)年に南陽市が誕生した後は、置賜地域は3市5町の体制となっている。

資料：山形県史、山形県HP

3 人口及び世帯数

令和4年10月1日現在における山形県の総人口は1,040,971人であり、前年に比べ13,758人（自然減少10,537人、社会減少3,221人）、1.30%の減少となった。一方、置賜地域の人口は195,994人であり、前年に比べ2,869人（自然減少2,247人、社会減少622人）、1.44%の減少となった。

山形県の総世帯数は400,895世帯であり、前年に比べ1,303世帯、0.33%増加し、また、1世帯当たりの人員は2.60人であり、前年の2.64人より減少している。一方、置賜地域の世帯数は75,169世帯であり、前年に比べ418世帯、0.56%増加した。

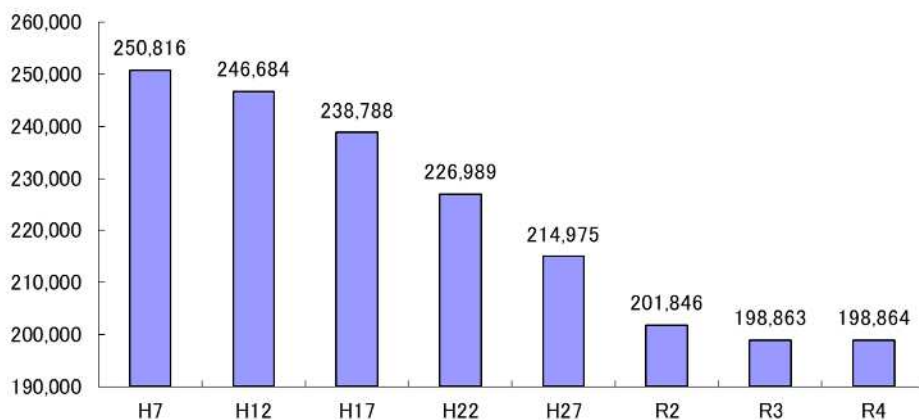
◇人口及び世帯数（令和4年10月1日現在）

（単位：人、%）

	総数	世帯数	1世帯 当たり人員
米沢市	79,601	33,677	2.36
長井市	25,765	9,540	2.70
南陽市	29,544	10,836	2.73
高畠町	21,720	7,395	2.94
川西町	13,854	4,453	3.11
小国町	6,811	2,811	2.42
白鷹町	12,386	4,361	2.84
飯豊町	6,313	2,096	3.01
置賜	195,994	75,169	2.61
山形県	1,040,971	400,895	2.60
置賜／県	18.8	18.8	

資料：「令和4年山形県の人口と世帯数」

◇置賜地域の人口推移



4 経済の概況

(1) 総生産額

令和元年度の市町村内総生産は、県全体では4兆3367億円となり（前年度比0.2減）、置賜地域では8,199億円（県の18.9%）で、前年度比1.1%減となった。対前年度増加率を産業別にみると、製造業や建設業などで減少したが、農林水産業などが増加した。

市町村内総生産を市町村別にみると、米沢市が4,029億円で置賜地域の総生産の49.1%を占めている。対前年度増加率を見ると、小国町で7.8%、飯豊町で10.0%増加した一方で、米沢市で1.7%、長井市で1.5%、南陽市で0.9%、高島町で5.7%、川西町で3.5%、白鷹町0.4%減少した。

(2) 就業人口

令和2年国勢調査によれば、管内の就業人口は107,317人で総人口の53.2%である。

このうち、第1次産業は8,554人で8.0%(8.7%)、第2次産業は37,571人で35.0%(35.8%)、第3次産業は61,192人で57.0%(55.5%)であり、県全体に比較し第2次産業が高く第3次産業が低い構成になっている。

※（ ）内は、平成27年国勢調査の数値

(3) 地域別経済規模

令和元年度における置賜地域の一人当たりの市町村民所得は、2,810千円（前年比0.4%増）で、県平均額2,901千円の96.9%である。

◇総生産、一人当たり所得、就業者数

(単位：人、%)

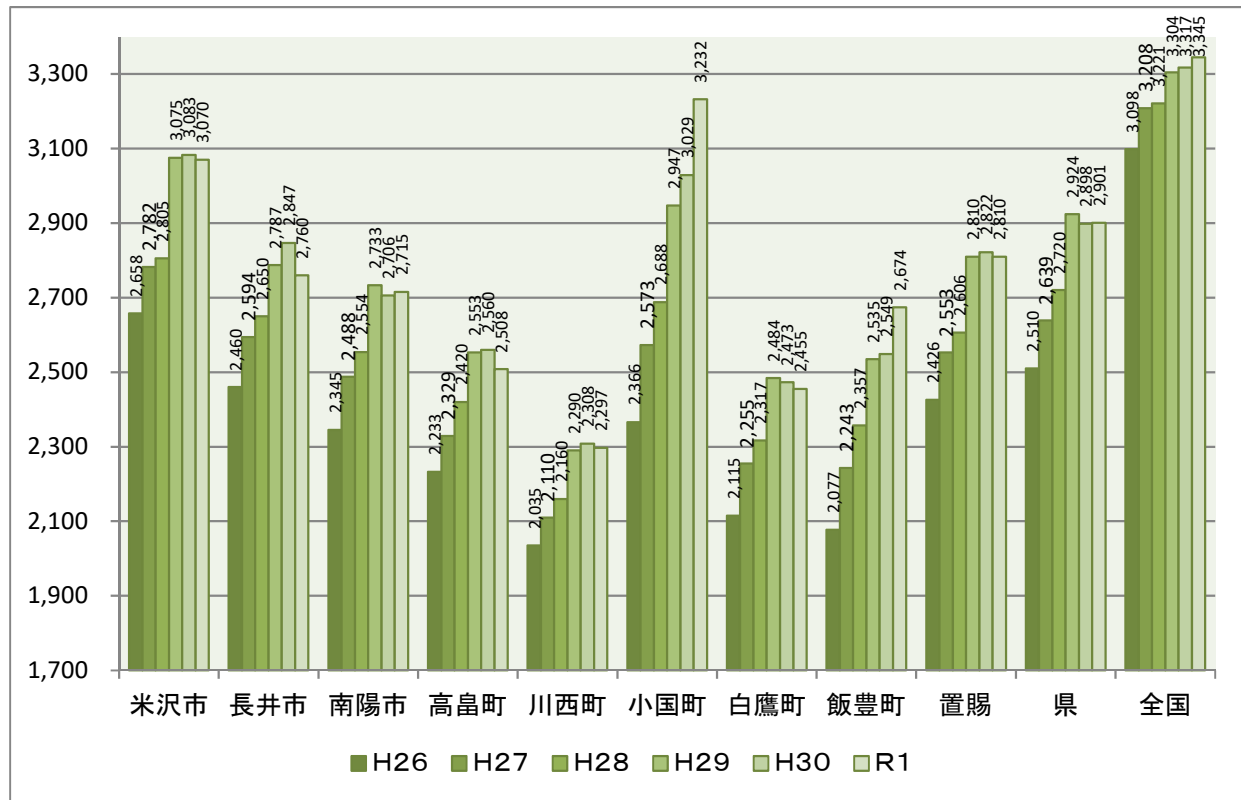
市町名	総生産額【R1】		就業人口の産業別構成【R2】(※)								一人当たり市町村民所得【R1】	
			総数		第1次		第2次		第3次			
	実額(百万円)	構成比	人数	対県比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	実額(千円)	対県比
米沢市	402,922	9.3	43,073	7.7	1,493	3.5	14,846	34.5	26,734	62.1	3,070	105.8
長井市	97,315	2.2	14,003	2.5	954	6.8	5,329	38.1	7,720	55.1	2,760	95.3
南陽市	101,379	2.3	16,289	2.9	1,537	9.4	5,180	31.8	9,572	58.8	2,715	93.6
高島町	68,704	1.6	12,353	2.2	1,700	13.8	4,437	35.9	6,216	50.3	2,508	86.5
川西町	40,381	0.9	7,678	1.4	1,261	16.4	2,483	32.3	3,934	51.2	2,297	79.2
小国町	39,363	0.9	3,568	0.6	292	8.2	1,556	43.6	1,720	48.2	3,232	111.4
白鷹町	39,550	0.9	6,737	1.2	711	10.6	2,495	37.0	3,531	52.4	2,455	84.6
飯豊町	30,248	0.6	3,616	0.6	606	16.8	1,245	34.4	1,765	48.8	2,674	92.2
置賜	819,863	18.9	107,317	19.1	8,554	8.0	37,571	35.0	61,192	57.0	2,810	96.9
山形県	4,336,714		562,460		48,737	8.7	160,622	28.6	353,101	62.8	2,901	

※就業人口の産業別構成の総数は「産業分類不能」含み、構成比は分母から「産業分類不能」を除いて計算している。

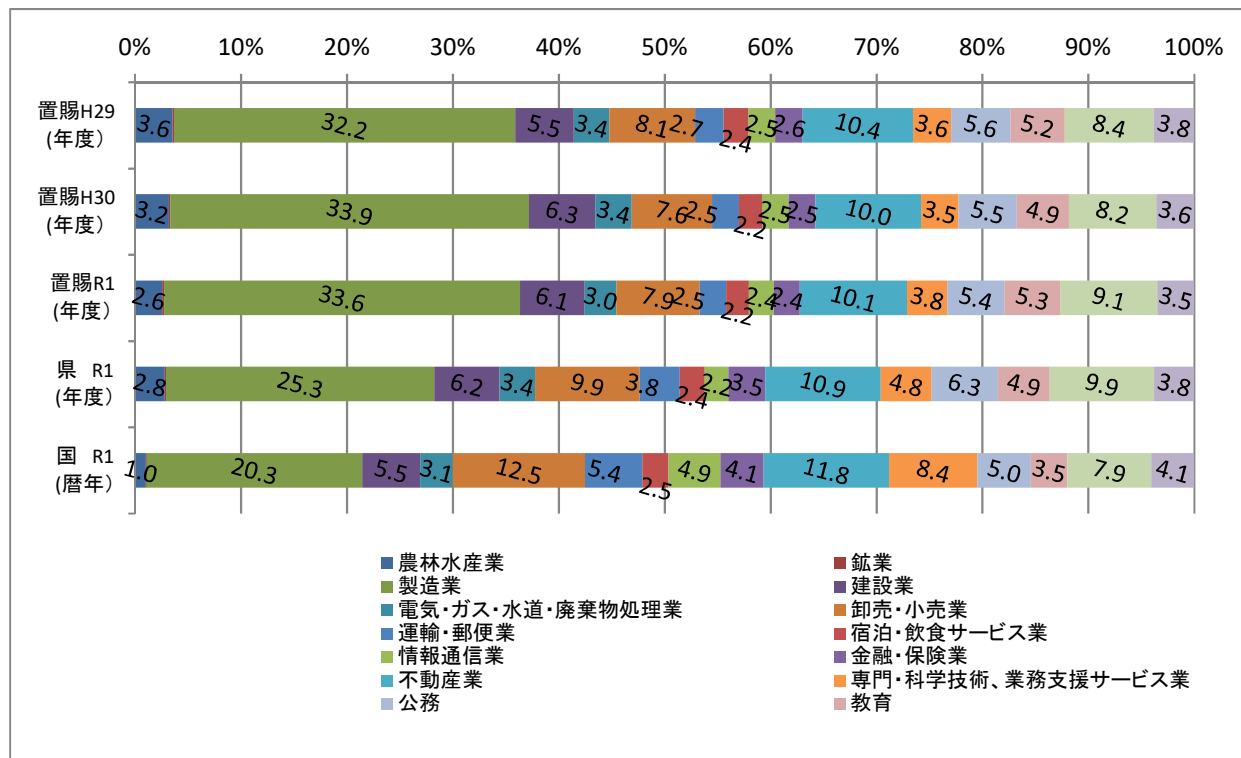
資料：令和2年国勢調査、令和元年度市町村民経済計算、令和元年度県民経済計算

◇一人当たりの市町村民所得（推移）

（単位：千円）

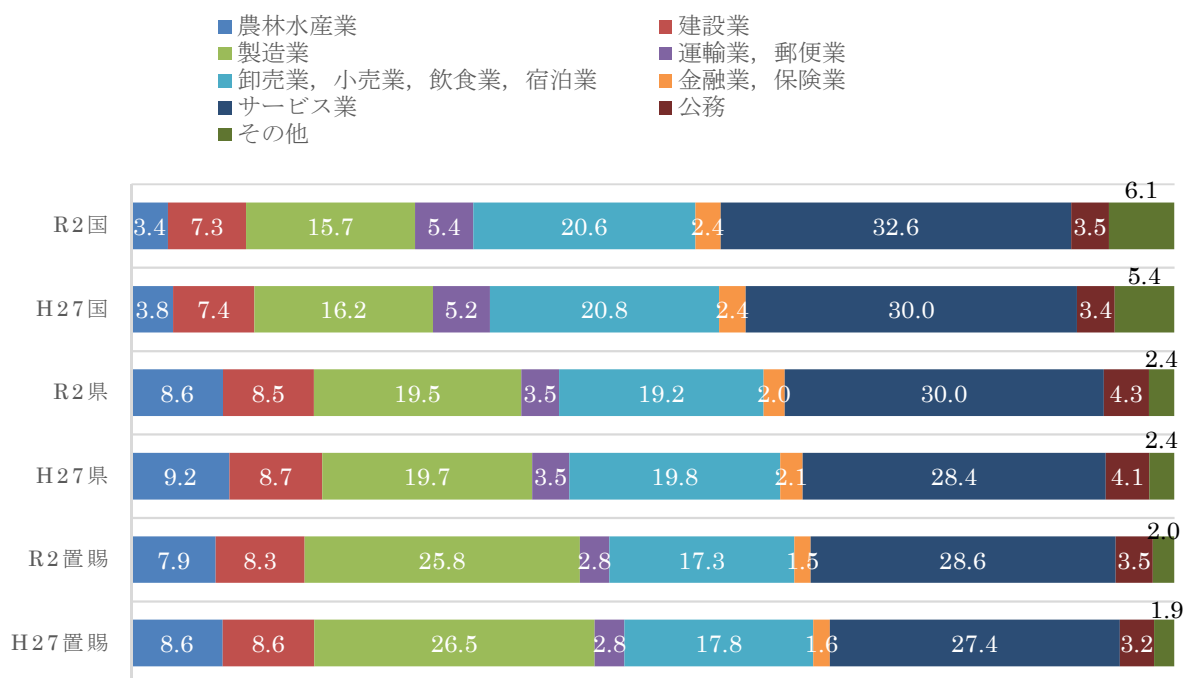


◇市町内総生産経済活動別構成比（推移）



資料：国民経済計算（内閣府）、市町村民経済計算（山形県）

◇就業者の産業分類別構成比（推移）



資料：令和2年国勢調査 就業状態等基本集計結果（総務省統計局）

◇事業所の総数に対する新設事業所の割合及び廃業率

	平成 28 年				平成 26 年における民間事業所の総数	平成 28 年	
	総数	存続事業所	新設事業所	総数に占める新設事業所率 (%)		廃業事業所	廃業率 (%)
置 賜	10,905	10,234	671	6.2	11,283	1,122	9.9
山形県	55,778	51,631	4,147	7.4	57,515	6,236	10.8
全 国	5,340,783	4,804,865	535,918	10.0	5,541,634	806,037	14.5

資料：平成 26 年山形県の事業所・企業 平成 26 年経済センサス-基礎調査結果報告書（山形県企画振興部）
 平成 28 年山形県の事業所 平成 28 年経済センサス-活動調査結果報告書（山形県企画振興部）
 平成 26 年経済センサス-基礎調査（確報）（総務省）、平成 28 年経済センサス-活動調査（確報）（総務省）

◇業種別にみる事業所数の増減比較

業種 (大分類)	置 賜				山 形 県				全 国			
	時期		増加数	増加率 (%)	時期		増加数	増加率 (%)	時期		増加数	増加率 (%)
	H26	H28			H26	H28			H26	H28		
農林漁業	103	103	0	0.0	501	510	9	1.8	32,822	32,676	▲ 146	▲ 0.4
建設業	1,268	1,216	▲ 52	▲ 4.1	6,516	6,235	-281	▲ 4.5	515,079	492,734	▲ 22,345	▲ 4.3
製造業	1,329	1,262	▲ 67	▲ 5.0	5,437	5,154	-283	▲ 5.5	487,061	454,800	▲ 32,261	▲ 6.6
卸・小売業	2,758	2,678	▲ 80	▲ 2.9	14,982	14,496	-486	▲ 3.4	1,407,235	1,355,060	▲ 52,175	▲ 3.7
サービス業 (宿泊飲食含)	4,807	4,676	▲ 131	▲ 2.7	25,041	24,532	-509	▲ 2.1	2,421,342	2,337,779	▲ 83,563	▲ 3.5
その他 (上記以外)	1,018	970	▲ 48	▲ 4.7	5,038	4,850	-188	▲ 3.9	678,095	905,746	227,651	33.6
合 計	11,283	10,905	▲ 378	▲ 3.4	57,515	55,778	-1737	▲ 3.1	5,541,634	5,578,795	37,161	0.7

資料：上記「◇事業所の総数に対する新設事業所の割合及び廃業率」の資料に同じ

5 製造業

(1) 事業所数、従業者数、製造品出荷額等、付加価値額

令和2年の置賜地域の製造品出荷額等は8,140億円で、前年に比べ399億円(4.7%)減少し、県全体に占める割合も28.7%と前年より1.3ポイント減少した。管内市町別では、飯豊町のみ前年に比べ増加した。

◇事業所数等（従業員4人以上）

	事業所数（カ所）					従業者数（人）				
	令和2年	令和3年	増減率	置賜 構成比	県内 構成比	令和2年	令和3年	増減率	置賜 構成比	県内 構成比
米沢市	242	282	16.5	39.3	10.4	10,650	11,246	5.6	43.2	11.4
長井市	102	117	14.7	16.3	4.3	3,312	3,261	▲1.5	12.5	3.3
南陽市	94	110	17.0	15.3	4.0	3,160	3,132	▲0.9	12.0	3.2
高島町	69	80	15.9	11.2	2.9	2,853	3,074	7.7	11.8	3.1
川西町	39	36	▲7.7	5.4	1.3	1,143	1,271	11.2	4.9	1.3
小国町	16	18	12.5	2.5	0.7	1,360	1,307	▲3.9	5.0	1.3
白鷹町	49	53	8.2	7.4	2.0	1,564	1,518	▲2.9	5.8	1.5
飯豊町	18	21	16.7	2.9	0.8	1,031	1,226	18.9	4.7	1.2
置賜	629	717	14.0	100	26.4	25,073	26,035	3.8	100	26.5
山形県	2,339	2,717	16.2	—	100	98,407	98,362	▲0.05	—	100
全国	181,877	176,858	▲2.8	—	—	7,717,646	7,465,556	▲3.3	—	—

	製造品出荷額等（億円）					付加価値額（億円）				
	令和元年	令和2年	増減率	置賜 構成比	県内 構成比	令和元年	令和2年	増減率	置賜 構成比	県内 構成比
米沢市	5,865	5,620	▲4.2	69.0	19.8	1,445	1,427	▲1.2	56.3	13.2
長井市	500	500	▲0.2	6.1	1.8	246	246	0.0	10.0	2.3
南陽市	573	517	▲9.7	6.4	1.8	273	252	▲7.7	10.0	2.3
高島町	547	467	▲14.8	5.7	1.6	199	166	▲16.6	6.5	1.5
川西町	264	256	▲3.0	3.1	0.9	93	98	6.0	3.9	0.9
小国町	359	347	▲3.3	4.3	1.2	218	178	▲18.3	7.0	1.7
白鷹町	227	227	0.0	2.8	0.8	102	100	▲2.5	3.9	0.9
飯豊町	203	206	1.3	2.5	0.7	72	68	▲5.5	2.7	0.6
置賜	8,538	8,140	▲4.7	100	28.7	2,648	2,535	▲4.3	100	23.5
山形県	28,456	28,323	▲0.5	—	100	10,785	10,796	0.1	—	100
全国	3,225,334	3,035,547	▲5.9	—	—	1,002,348	975,339	▲2.7	—	—

資料：山形県の工業-令和3年経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書-（山形県みらい企画創造部）

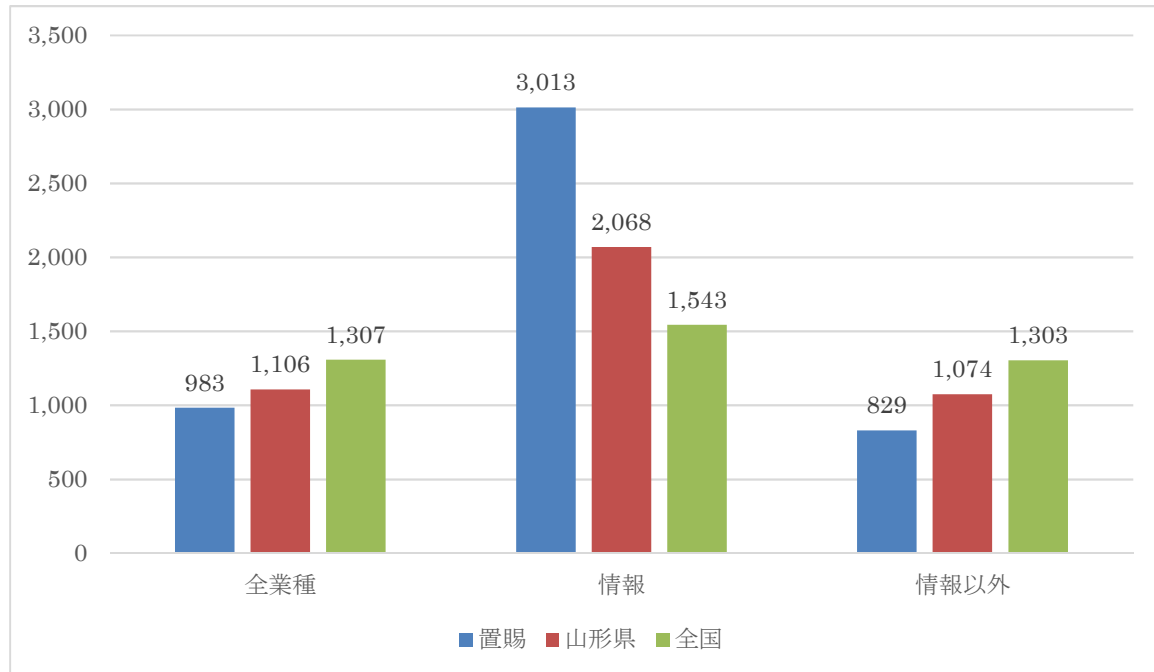
令和3年経済センサス-活動調査

(2) 構造の特色

製造業は置賜地域の基幹産業であるが、大企業の生産工場や下請け企業が多くを占めており、製造品出荷額等に占める付加価値額の割合は全国平均及び県平均を下回っている。また、1人当たりの付加価値額については、情報通信機械関連産業が全国平均を大きく上回っている。

業種別には、情報通信機械関連に特化しているため、特定の業種・企業の動向に影響を受けやすい構造となっている。

◇従業員1人当たりの付加価値額（従業員4人以上の事業所）（令和元年）



(単位:万円)

◇製造品出荷額等業種別構成比（従業員4人以上の事業所）（令和2年）

(単位:%)

	置 賜		山 形 県		全 国	
	業種	構成比	業種	構成比	業種	構成比
1 位	情報通信	33.5	電子部品	20.6	輸送用機械	19.8
2 位	電子部品	14.1	食料品	11.4	食料品	9.8
3 位	電気機械	9.2	情報通信	11.3	化学	9.5
4 位	生産用機械	8.7	化学	10.8	生産用機械	6.5
5 位	窯業土石	6.4	生産用機械	7.0	電気機械	5.9
その他	その他	28.1	その他	38.9	その他	48.5

資料：山形県の工業-令和3年経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書-（山形県みらい企画創造部）

令和3年経済センサス-活動調査

(3) 農工団地の現況

置賜地域の農工団地及び立地企業の数、米沢市は4団地104社、長井市は1団地35社、南陽市は2団地21社、高畠町は3団地5社、白鷹町は3団地8社、飯豊町は1団地14社の合計14団地187社である。また県全体では56団地である。

なお、米沢八幡原中核工業団地は独立行政法人中小企業基盤整備機構（旧地域振興整備公団）の第1号の中核工業団地であり、置賜地域の中核をなす工業団地である。

◇農工団地の分譲状況（令和5年4月1日現在）

団地名	市町名	立地企業数			団地総面積 (㎡)	工場用地面積 A (㎡)	分譲済面積 B (㎡)	立地率 B/A	未買収 面積(㎡)	計画策 定年度
		計	操業	未操業						
米沢八幡原	米沢市	72	67	5	3,836,000	1,703,010	1,703,010	100.0	0	昭和49
窪田	〃	15	15	0	155,000	150,155	150,155	100.0	0	昭和47
東松原	〃	1	1	0	33,000	30,577	30,577	100.0	0	〃
米沢南	〃	16	15	1	820,155	609,812	609,812	100.0	0	〃
長井北	長井市	23	20	3	273,561	255,987	215,573	84.2	40,414	昭和46
南陽西	南陽市	19	18	1	268,068	209,060	209,060	100.0	0	〃
梨郷	〃	2	1	1	37,788	33,419	33,419	100.0	0	平成25
相ノ森	高畠町	1	1	0	8,685	8,685	8,685	100.0	0	昭和46
糠野目	〃	1	1	0	56,527	56,527	56,527	100.0	0	〃
高畠西	〃	3	3	0	120,000	111,700	111,700	100.0	0	〃
白鷹東部	白鷹町	6	6	0	73,000	63,243	63,243	100.0	0	〃
鮎貝	〃	1	1	0	28,000	23,442	23,442	100.0	0	昭和48
大林寺	〃	1	1	0	17,436	17,436	17,436	100.0	0	〃
東山	飯豊町	14	14	0	291,423	192,142	188,641	98.2	3,501	〃

資料：各市町から聴取

◇米沢八幡原中核工業団地の概況（令和5年4月1日現在）

◆分譲状況

項目	内容
総面積	383.6 ha
工場用地面積	170.3 ha
分譲済面積	170.3 ha
分譲率	100%
分譲可能面積	—
立地企業数	71社
操業企業数	67社
未操業企業数	4社
従業員数（※）	4,048人
製造品出荷額等（※）	2,146億円

（※）従業員数は令和4年4月1日現在

（※）製造品出荷額等は令和2年6月1日現在

資料：米沢市から聴取

◆年度別立地操業状況

年度	立地数	操業数	年度	立地数	操業数
昭和53年	3	0	12年	0	0
54年	8	0	13年	0	0
55年	2	5	14年	0	0
56年	0	5	15年	2	2
57年	4	0	16年	0	0
58年	5	0	17年	0	0
59年	6	4	18年	2	1
60年	6	6	19年	1	0
61年	2	7	20年	0	0
62年	1	4	21年	1	1
63年	3	2	22年	1	1
平成元年	8	6	23年	2	2
2年	5	5	24年	0	1
3年	2	4	25年	0	0
4年	0	3	26年	1	1
5年	0	1	27年	1	1
6年	0	0	28年	1	0
7年	1	0	29年	0	2
8年	1	0	30年	1	0
9年	0	2	令和元年	2	2
10年	1	1	令和2年	2	1
平成11年	1	1	令和3年	2	0

(4) 工場立地の動向

◇工場の立地の状況

工場立地の状況(取得面積1,000㎡以上)は、令和4年は県全体では16件と、前年より10件減少し、置賜地域では5件と、前年より1件増加した。

◆工場立地件数(製造業等)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
置賜地域	5	4	9	8	5	4	5
山形県	24	19	22	21	20	26	16

6 商業

(1) 商店数、従業者数、年間商品販売額

平成 28 年商業統計調査結果報告書によると、置賜地域における商店数及び従業者数は平成 26 年調査時の数値を下回っており、市町別でも管内のすべての市町において商店数及び従業者数が減少した。年間商品販売額をみると、平成 26 年調査時の数値を上回っており、管内の市町別でみると米沢市、高島町及び川西町で増加した。

また、県全体に占める割合をみると、前回調査と比較して従業者数は 18.0%で 0.6 ポイント増加、商店数は 19.0%で 0.6 ポイント増加したが、年間商品販売額は 13.3%で 0.1 ポイントの減少となっている。

◇商店数、従業者数、年間商品販売額

	商店数			従業者数 (人)			年間商品販売額 (億円)		
	26 年	28 年	増減率	26 年	28 年	増減率	26 年	28 年	増減率
米沢市	1,129	968	▲ 14.3	7,841	7,178	▲ 8.5	1,698	1,832	7.9
長井市	396	337	▲ 14.9	2,355	2,128	▲ 9.6	493	486	▲ 1.4
南陽市	460	390	▲ 15.2	2,449	2,168	▲ 11.5	447	424	▲ 5.1
高島町	271	243	▲ 10.3	1,422	1,196	▲ 15.9	215	273	27.0
川西町	179	153	▲ 14.5	770	656	▲ 14.8	103	109	5.8
小国町	100	82	▲ 18.0	503	361	▲ 28.2	58	48	▲ 17.2
白鷹町	153	134	▲ 12.4	683	583	▲ 14.6	100	94	▲ 6.0
飯豊町	70	64	▲ 8.6	332	300	▲ 9.6	43	43	▲ 0.0
置賜	2,758	2,371	▲ 14.0	16,355	14,570	▲ 10.9	3,157	3,309	4.8
山形県	14,982	12,473	▲ 16.7	93,732	81,159	▲ 13.4	23,600	24,882	5.4
置賜/県	18.4	19.0	—	17.4	18.0	—	13.4	13.3	—

資料：平成 28 年山形県の商業（卸売・小売業）-商業統計調査結果報告書-（山形県企画振興部）

(2) 購買依存率

平成 30 年度山形県買物動向調査結果によると、自市町の購買依存率は、商品総合^{※1}で米沢市・長井市・南陽市は 7 割以上だが、その他の町はすべて 6 割を下回っている。特に、小国町は 3 割、飯豊町は 1 割にとどまっており、高島町では米沢市・南陽市への流出が高く、飯豊町では長井市への流出が高くなっている。最寄品^{※2}はどの市町も商品総合より高くなるが、買回品^{※3}は商品総合より一段と低くなる。

東南置賜の各市町では米沢市へ、西置賜の各町では長井市への流出が多い傾向にある。また、小国町から新潟県へ流出している状況から、交通インフラの整備に伴って買い物の行動範囲が拡大していることがうかがわれる。

※1 「商品総合」…全商品項目の合計で、最寄品+買回品。

※2 「最寄品」……食料品・日用雑貨品など日常的に頻繁に購入する商品。

※3 「買回品」……衣料品や電化製品、家具など、いくつもの店舗を回るなどして複数の店を見て回り、価格や性能・デザイン等を比較することにより選択的に購入する商品。

◇購買依存率

(単位：%)

	自市町購買依存率				
	商品総合	最寄品	買回品	外食	レジャー・娯楽
米沢市	86.6	91.3	75.7	68.2	36.9
長井市	75.2	84.8	53.4	36.3	10.8
南陽市	74.8	84.1	54.1	45.7	10.5
高畠町	58.5	69.5	34.3	25.5	9.6
川西町	42.7	54.3	16.9	11.1	3.9
小国町	28.3	32.8	17.8	11.3	2.5
白鷹町	43.9	51.4	26.2	20.9	5.7
飯豊町	14.1	15.3	11.2	10.0	2.1

(単位：%)

	他市町村等への流出状況（商品総合）					
	第1位	第2位	第3位	インターネット	カタログ通信販売	訪問販売 移動販売等
米沢市	インターネット 4.0	山形市 2.8	仙台市 1.3	4.0	1.2	0.3
長井市	山形市 8.0	米沢市 4.7	インターネット・南陽市 2.9	2.9	0.8	0.1
南陽市	山形市 8.2	米沢市 6.8	インターネット 2.3	2.3	1.3	0.7
高畠町	米沢市 19.4	南陽市 11.8	山形市 3.8	2.6	0.6	0.2
川西町	米沢市 29.0	南陽市 8.6	長井市 6.9	2.1	2.5	0.7
小国町	新潟県 30.2	米沢市 12.9	長井市 12.9	2.1	2.3	1.4
白鷹町	長井市 29.4	山形市 19.3	インターネット 2.4	2.4	0.6	0.3
飯豊町	長井市 48.4	川西町 12.4	南陽市 8.6	1.8	1.0	2.5

注：表内数値 0.0 は微少値により丸められた数値。

資料：山形県の買物動向 平成 30 年度山形県買物動向調査報告書（山形県商工労働部）

(3) 大規模小売店舗の状況

置賜地域の大規模小売店舗の状況は、モータリゼーションの進展等により、郊外への出店が相次いでいる。

◇大規模小売店舗（面積 1,000 m²超）の状況

	商店数		従業員数 (人)		年間商品販売額 (万円)		売場面積 (m ²)	
	H26	H28	H26	H28	H26	H28	H26	H28
米沢市	23	27	1,020	875	2,633,836	1,299,288+x	69,385	33,377+x
長井市	5	8	212	247	x	x	x	x
南陽市	10	9	337	248	43,190+x	513,219+x	10,522+x	15,891+x
高畠町	1	2	13	35	x	x	x	x
川西町	1		58		x		x	
小国町								
白鷹町	3	4	107	105	x	230,128	x	5,370
飯豊町								
置賜	43	50	1,747	1,510	4,448,069	3,116,029	112,152	101,080

注：x…秘密の保持上、秘匿のもの

空欄…該当数値なし

資料：平成 28 年山形県の商業（卸売・小売業）（山形県企画振興部）

なお、面積不詳分は除く

7 雇用・労働

(1) 労働相談状況

置賜地域の労働相談の状況は、労働条件に関する相談が多く、その内容は、労働時間、休日・休暇等に関するものとなっている。

◇労働相談件数

	労働者	使用者	計
平成30年度	19	3	22
令和元年度	18	0	18
令和2年度	29	2	31
令和3年度	20	2	22
令和4年度	37	1	38

資料：「令和4年度相談件数」調

(2) 労働組合数及び組合員数

令和3年の置賜地域の労働組合の状況は、組合数が125組合で昨年比11.3%減少し、組合員数は12,426人で昨年比7.8%減少した。

◇労働組合数及び組合員数の推移（各年6月末日現在）

	置賜				山形県			
	組合数	対前年比 (%)	組合員数 (人)	対前年比 (%)	組合数	対前年比 (%)	組合員数 (人)	対前年比 (%)
平成29年	139	▲2.1	14,979	▲0.4	694	▲0.9	75,717	▲4.0
平成30年	140	0.7	13,937	▲7.0	680	▲2.0	75,703	▲0.0
令和元年	141	0.7	13,521	▲3.0	676	▲0.6	74,797	▲1.2
令和2年	141	0.0	13,482	▲0.3	693	2.5	73,443	▲1.8
令和3年	125	▲11.3	12,426	▲7.8	622	▲10.2	70,599	▲3.9

資料：「令和3年労働組合基礎調査」（山形県雇用・コロナ失業対策課）

(3) 離職者の状況

令和4年度の置賜地域の離職者の状況は、前年度と比較して離職者数は減少し、事業主都合による離職者の割合も減少した。

◇離職者数の推移

(単位：人、%)

	離職者数(A)	うち事業主都合(B)	(B)/(A)×100
平成30年度	4,554	1,073	23.6
令和元年度	4,995	1,453	29.1
令和2年度	4,690	1,461	31.2
令和3年度	4,357	1,143	26.2
令和4年度	4,338	973	22.4

注：新規求職者数（パートタイムを含む常用）のうち離職によるもの

資料：山形労働局

(4) 求人・求職者の状況

令和4年度(4月～3月)の置賜地域の有効求人数(月平均)は4,484人で、昨年度比17.1%と増加した。また、有効求職者数(月平均)は2,886人で、昨年度比▲4.7%と減少した。このため、令和4年度の平均の有効求人倍率は1.55倍と、前年度より0.31ポイント増加している。

◇求人・求職者数(月平均)

(単位:人)

	月間有効求人数	月間有効求職者数	有効求人倍率(倍)	新規求人数
平成30年度	4,430	2,996	1.48	1,597
令和元年度	3,817	3,130	1.22	1,386
令和2年度	3,000	3,232	0.93	1,130
令和3年度	3,830	3,080	1.24	1,390
令和4年度	4,484	2,886	1.55	1,602

注:新規学卒を除きパートを含む全数

資料:山形労働局、米沢・長井公共職業安定所

(5) 新規学卒者の就職状況

令和4年度の置賜地域における新規学卒者の就職希望者の就職状況(就職率)は、高等学校卒では前年度より0.5ポイント減少の99.5%となった。県全体の就職率も前年度より0.8ポイント減少した。

また、置賜地域における短期大学卒の状況は2.6ポイント増加し、県全体における短期大学卒の状況は0.1ポイント増加した。置賜地域及び県全体の大学卒の状況は前年度を下回った。

◇新規学卒者の就職状況

◆高等学校新規学卒者の状況

	年度	就職希望者 (人)	求人数 (人)	求人倍率 (倍)	就職者数 (人)	就職率 (%)
置賜	平成30年度	581	1,433	3.29	578	99.5
	令和元年度	479	1,298	3.70	479	100.0
	令和2年度	432	1,027	3.21	431	99.8
	令和3年度	394	1,138	3.55	394	100.0
	令和4年度	404	1,215	3.96	402	99.5
山形県	平成30年度	2,719	6,438	2.99	2,710	99.7
	令和元年度	2,524	5,912	3.06	2,516	99.7
	令和2年度	2,356	5,271	2.75	2,343	99.4
	令和3年度	2,054	5,652	3.31	2,050	99.8
	令和4年度	2,036	6,490	3.92	2,015	99.0

注:求人数及び求人倍率は県外分を含まず

◆短期大学新規学卒者

	年度	就職希望者 (人)	就職者数 (人)	就職率 (%)
置賜	平成 30 年度	198	195	98.5
	令和元年度	178	173	97.2
	令和 2 年度	182	174	95.6
	令和 3 年度	172	164	95.3
	令和 4 年度	141	138	97.9
山形県	平成 29 年度	464	457	98.5
	令和元年度	420	412	98.1
	令和 2 年度	425	413	97.2
	令和 3 年度	386	377	97.7
	令和 4 年度	314	307	97.8

◆大学新規学卒者

	年度	就職希望者 (人)	就職者数 (人)	就職率 (%)
置賜	平成 30 年度	601	600	99.8
	令和元年度	641	639	99.7
	令和 2 年度	550	542	98.5
	令和 3 年度	588	588	100.0
	令和 4 年度	601	595	99.0
山形県	平成 30 年度	1,734	1,712	98.7
	令和元年度	1,825	1,791	98.1
	令和 2 年度	1,708	1,657	97.0
	令和 3 年度	1,766	1,728	97.8
	令和 4 年度	1,793	1,747	97.4

資料：山形労働局、米沢・長井公共職業安定所、山形大学、山形県公立大学法人（R5.4 末）

8 観光

置賜地域は、「東洋のアルカディア」として称賛された自然豊かな地域である。多彩な観光素材が各市町に点在しており、名所旧跡の割合が高いことが特徴としてあげられる。

置賜地域の各市町では、豊富な観光資源を活かし「上杉の城下町米沢」「水と緑と花のまちながい」「菊とぶどうといで湯の里南陽」「まほろばの里高畠」「緑と愛と丘のある町川西」「白い森おぐに」「春サクラ。夏はベニバナ、秋はアユ。冬は隠れ蕎麦屋のしらたかへ」「めぎみの里いいで」をそれぞれのキャッチフレーズに、観光振興を図っている。

令和3年度の観光客数は、令和2年度に比べて107.4%となる624万人で、新型コロナウイルスの感染拡大による移動自粛等が継続しているものの前年度を上回る結果となった。

近年、数人単位の小グループによるテーマ性・ストーリー性をもった観光志向が高まっている傾向や、コロナ禍における旅行スタイルの変化及びデジタル化への対応が求められる状況を踏まえ、民間団体や観光施設の事業者等が参画する「山形おきたま観光協議会」（事務局：置賜総合支庁地域産業経済課観光振興室）において、これまでの諸事業で培われたおもてなしの取り組みや地域資源の磨き上げを引き続き行っている。春季は、平成19年度から平成28年度まで10年間にわたり「花・食・歴史」をテーマに「やまがた花回廊キャンペーン」を展開してきたが、平成29年度からは、『山形日和。』花回廊キャンペーン」として全県に拡大展開している（令和3年度は東北デスティネーションキャンペーン開催、令和4年度は南東北重点販売のため休止）。冬季は、平成22年度から7年間にわたり、雪などの地域資源を活用しながら冬季観光誘客キャンペーンを展開してきたが、冬季の観光客数の一層の底上げを図るため、平成29年度からは新たに実行委員会を設立し、官民連携して誘客促進のための「やまがた冬のあつた回廊キャンペーン」を展開している。

また、観光需要の一層の喚起を図るため、ホームページやSNS、パンフレット等で観光情報を発信するなど、四季を通じた切れ目のない情報発信に取り組むことで、観光客の誘客と地域内での周遊・滞在促進を図っている。

◇観光者数（延べ数） （単位：千人、％）

	令和3年度	令和2年度	置賜(県)構成比	R3/R2年度比
米沢市	2,451	2,357	39.3	104.0
長井市	875	712	14.0	122.9
南陽市	612	552	9.8	110.9
高畠町	530	491	8.5	107.9
川西町	402	366	6.4	109.8
小国町	284	278	4.6	102.2
白鷹町	611	603	9.8	101.3
飯豊町	470	447	7.5	105.1
置賜	6,235	5,806	20.7	107.4
山形県	30,059	27,511		109.3

注：四捨五入のため合計と内訳の計が一致しないことがある。

資料：「令和3年度山形県観光者数調査」

◇観光地別観光者数（延べ数）（令和3年度）

（単位：千人、％）

	置賜		山形県		置賜／県
		(構成比)		(構成比)	
山 岳	58.5	0.9	488.3	1.6	12.0
温 泉	588.3	9.4	6,303.8	21.0	9.3
スキー場	82.8	1.3	794.3	2.6	10.4
海水浴場	0.0	0.0	396.8	1.3	0.0
名所旧跡	1,356.9	21.8	4,158.9	13.8	32.6
観光道路	0.0	0.0	890.1	3.0	0.0
道 の 駅	2,675.2	42.9	6,950.8	23.1	38.5
そ の 他	1,473.1	23.6	10,075.9	33.5	14.6
計	6,234.8	100.0	30,058.9	100.0	20.7

資料：「令和3年度山形県観光者数調査」 四捨五入のため合計と内訳の計が一致しないことがある。

◇主たる観光地別観光者数（置賜地域上位10地点・延べ数）（令和3年度）

（単位：千人）

観光地名	所在地	区分	観光者数
道の駅米沢	米沢市	道 の 駅	1,487
松岬公園	米沢市	名所旧跡	577
道の駅川のみなと長井	長井市	道 の 駅	468
どりいむ農園直売所	白鷹町	そ の 他	334
熊野大社と双松公園	南陽市	名所旧跡	266
めざみの里観光物産館	飯豊町	道 の 駅	254
ぶな茶屋	白鷹町	道 の 駅	192
亀岡文殊	高畠町	名所旧跡	89
鳥烏帽子山公園と八幡神社	南陽市	名所旧跡	80
米沢スキー場	米沢市	スキー場	41

資料：「令和3年度山形県観光者数調査」

◇主な観光行事別観光者数（延べ数）

（単位：千人、％）

所在地	観光行事	令和3年度	令和2年度	R3/R2年度比
米沢市	米沢上杉まつり	中止	中止	—
	上杉雪灯籠まつり	中止	中止	—
長井市	ながい黒獅子まつり	1	中止	—
	あやめまつり(あやめ公園)	50	中止	—
南陽市	南陽の菊まつり	47	37	127.0
高畠町	たかはた夏まつり (青竹ちょうちんまつり)	5	中止	—
白鷹町	白鷹鮎まつり	中止	中止	—

資料：「各市町からの情報提供」

◇主要3温泉観光者数（延べ数）

（単位：千人、％）

温泉名	令和3年度	令和2年度	R3/R2年度比
赤湯温泉	123	194	63.4
小野川温泉	60	53	113.2
白布温泉	13	15	86.7
計	196	262	74.8

資料：「令和3年度山形県観光者数調査」

9 農業及び林業

(1) 農林水産業の主要指標

項目		置賜 (A)	(構成比)	山形県 (B)	(構成比)	置賜/県 (A)/(B)	備考
面積(k㎡)		2,495.24		9,323.14		26.8	国土地理院 「令和4年全国都道府 県市区町村別面積調」
人口(人)	総人口	198,863		1,054,729		18.9	令和3年山形県の人口 と世帯数
	うち老年人口	69,060		362,248		19.1	
	基幹的 農業従事者数	7,067		39,034		18.1	農林水産省 「2020年農林業センサ ス」
	うち65歳以上	4,767		26,645		17.8	
販売農家	5,000		26,796		18.7		
うち主業農家	1,417		7,698		18.4		
農家戸数 (戸)	うち準主業農家	645		4,065		15.9	
	うち副業的農家	2,961		15,470		19.1	
	自給的農家	3,068		12,832		23.9	
耕地面積 (ha)	総農家	7,766		39,628		19.6	農林水産省 「令和4年耕地及び作 付面積統計」 (R5.3.1現在)
	田	19,324	(82.2)	91,100	(79.2)	21.2	
	畑	4,170	(17.8)	23,900	(20.8)	17.4	
	計	23,500		115,000		20.4	
販売目的で 栽培した作 物栽培面積 (ha)	稲	13,130		63,002		20.8	農林水産省 「2020年農林業センサ ス」
	野菜類	464		4,455		10.4	
	花き類・花木	35		574		6.1	
	果樹類	596		6,220		9.6	

注：数値は四捨五入の関係で合計と一致しない

基盤整備 (水田整備) 面積 (ha)	整備対象面積	19,400			県農林水産部農村整備 課 (R3.3)
	整備済面積	14,214	(令和3年3月)		
	整備率	73.3%	(県全体78.4%)		
森林面積 (ha)	森林面積	191,887	(総面積の76.9%)		「令和3年度林業統計」
	うち国有林	77,108			
	うち民有林	114,779	(うち人工林 約32,447)		
	平均林道密度	4.12 m/ha			

(2) 専・兼業別農家数及び農家人口等

総農家数に対する主業農家数^{*}の比率は、置賜地域が 18.2%で県の 19.4%と比べて若干低い。置賜地域の市町では高畠町が 26.4%で最も高く、次いで南陽市が 24.9%となっている。

^{*}主業農家：農業所得が農家所得の 50%以上で、65 歳未満の農業従事 60 日以上の者がいる農家

◇市町別農家数（令和 2 年）

(単位：戸、%)

	総農家数 (A)	主業農家数 (B)	構成比 (B)／(A)	準主業農家	副業的農家	自給的 農家数
米沢市	1,301	222	17.1	115	419	543
長井市	1,005	137	13.6	84	393	393
南陽市	1,107	276	24.9	85	422	338
高畠町	1,210	320	26.4	94	491	307
川西町	1,117	243	21.8	134	463	280
小国町	360	21	5.8	26	132	180
白鷹町	1,104	88	8.0	56	337	626
飯豊町	562	110	19.6	51	304	99
置賜	7,766	1,417	18.2	645	2,961	2,766
山形県	39,628	7,698	19.4	4,065	15,470	12,832

資料：「2020 年農林業センサス」（農林水産省）

◇市町別の基幹的農業従事者数（令和 2 年）

(単位：人、%)

	基幹的農業従事者数		
	男	女	計
米沢市	708	353	1,061
長井市	529	260	789
南陽市	796	499	1,295
高畠町	951	568	1,519
川西町	784	353	1,137
小国町	115	46	161
白鷹町	399	184	583
飯豊町	371	151	522
置賜	4,653	2,414	7,067
山形県	24,620	14,414	39,034

資料：「2020 年農林業センサス」（農林水産省）

◇年齢階層別基幹的農業従事者数（令和2年）

（単位：人、％）

	15～29歳	30～49歳	50～64歳	65歳以上 (A)	計 (B)	(A)/(B)
米沢市	15	110	240	696	1,061	65.6
長井市	8	63	142	576	789	73.0
南陽市	16	131	322	826	1,295	63.8
高畠町	21	151	345	1,002	1,519	66.0
川西町	14	120	238	765	1,137	67.3
小国町	3	16	30	112	161	69.6
白鷹町	9	50	101	423	583	72.6
飯豊町	6	48	101	367	522	70.3
置賜	92	689	1,519	4,767	7,067	67.5
山形県	453	3,652	8,284	26,645	39,034	69.3

資料：「2020年農林業センサス」（農林水産省）

（3）認定農業者等

認定農業者制度とは、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が策定した農業経営改善計画を市町村が認定し、この計画が着実に達成できるよう認定農業者を支援していく制度であり、認定期間は5年間で、その後は計画を見直し、再度認定を受けることができる。令和4年3月末現在、置賜地域では1,634人が認定を受けている。そのうち、女性が32人、令和4年3月末までに再認定を受けた者が259人となっている。

◇農業経営改善計画認定状況（令和4年3月末現在）

（単位：人、％）

	認定者数			終期を迎えた認定者 (R3年度)	再認定者 (R3年度)	再認定率 (R3年度)
		うち女性	うち法人			
米沢市	290	6	27	69	55	79.7
長井市	182	0	18	33	24	72.7
南陽市	256	4	18	43	39	90.7
高畠町	306	4	19	43	37	86.0
川西町	281	5	22	72	60	84.5
小国町	38	1	8	10	8	80.0
白鷹町	109	1	12	21	14	66.7
飯豊町	172	11	16	33	22	66.7
置賜	1,634	32	140	324	259	80.2

資料：山形県農業経営・所得向上推進課

注：再認定者のうち、他の認定庁の認定を受けている1名（川西町）は再認定率の算定時から除外

◇年度別認定状況の推移（各年度3月末現在）

（単位：人）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
米沢市	250	250	251	248	251	259	275	333	349	346	332	332	304	290
長井市	211	212	206	195	189	181	209	216	219	218	213	191	186	182
南陽市	287	295	300	299	299	289	299	294	290	291	285	266	259	256
高島町	278	282	284	268	243	241	294	324	328	324	321	315	304	306
川西町	406	411	411	386	364	338	340	351	339	333	332	311	292	281
小国町	39	40	42	41	42	43	49	49	51	49	50	43	40	38
白鷹町	123	123	118	114	111	113	124	131	128	123	123	119	112	109
飯豊町	143	147	150	149	152	156	200	220	216	216	209	198	184	172
置賜	1,737	1,760	1,762	1,700	1,651	1,620	1,790	1,918	1,920	1,900	1,865	1,775	1,681	1,634
山形県	8,639	8,657	8,550	8,323	8,211	8,180	9,210	10,183	10,175	10,100	9,966	9,400	8,792	8,602

資料：山形県農業経営・所得向上推進課

◇新規就農者数（令和4年度）

（単位：人）

	新規学卒 就農者	Uターン 就農者	新規参入者	計
米沢市	1	0	17	18
長井市	1	3	7	11
南陽市	0	2	7	9
高島町	1	5	2	8
川西町	4	4	3	11
小国町	1	0	1	2
白鷹町	1	2	2	5
飯豊町	0	0	3	3
置賜	9	16	42	67
山形県	36	137	185	358

注：令和3年6月1日～令和4年5月31日に就農した者を集計

資料：山形県農業経営・所得向上推進課

◇年度別新規就農者数の推移（各年6月1日～翌年5月31日の新規就農者）

（単位：人）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
置賜	38	42	42	33	39	65	53	50	85	71	74	45	63	67
山形県	150	226	224	219	251	264	280	300	309	344	348	353	357	358

資料：山形県農業経営・所得向上推進課

(4) 農業法人の状況

農業就業者の高齢化や新規就農者等の減少により地域農業の担い手が不足していることから、認定農業者などが中心となり法人を設立して地域農業の核となる取組みが進んでいる。

◇農業法人数（令和2年）

	米沢市	長井市	南陽市	高畠町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町	置賜(A)	山形県(B)	置賜/県(A)/(B)
農事組合法人	6	10	2	4	9	3	6	4	44	202	21.8
会社	19	10	17	15	8	8	5	11	93	382	24.3
各種団体	1	1	0	0	0	0	0	0	2	33	6.1
その他の法人	1	1	1	0	0	0	0	0	3	9	33.3
計	27	22	20	19	17	11	11	15	142	626	22.7

資料：「2020年農林業センサス」（農林水産省）

(5) 土地利用型作物の栽培状況

令和4年産の水稲作付面積は、12,400haで県全体(61,500ha)の20.2%を、収穫量は72,500tで県全体(365,300t)の19.8%を占めている。

市町村別(R4年産)では、面積、収穫量ともに川西町、米沢市、高畠町の順が多い。置賜地域の単収(10a当たり収量)は、585kgと県の単収(594kg)を下回った。単収は、米沢市、長井市、川西町が高い。

米の栽培品種別作付面積(R3年産)割合は、「はえぬき」が56%、「つや姫」18%、「コシヒカリ」10%となっている。県全体では、「はえぬき」62%、「つや姫」16%、「ひとめぼれ」7%、「雪若丸」6%となっている。県全体と比較すると「コシヒカリ」が多く、「ひとめぼれ」の作付けが少ない。

◇米の作付面積及び収穫量

市町村	作付面積			10a当たり収量			収穫量		
	R2年(ha)	R3年(ha)	R4年(ha)	R2年(kg)	R3年(kg)	R4年(kg)	R2年(t)	R3年(t)	R4年(t)
米沢市	2,400	2,320	2,260	612	612	605	14,700	14,200	13,700
長井市	1,760	1,680	1,670	638	632	602	11,200	10,600	10,100
南陽市	1,190	1,150	1,140	629	610	591	7,490	7,020	6,740
高畠町	2,120	2,030	2,010	617	600	590	13,100	12,200	11,900
川西町	3,090	2,950	2,910	644	633	595	19,900	18,700	17,300
小国町	485	469	443	534	515	482	2,590	2,420	2,140
白鷹町	846	823	799	581	577	543	4,920	4,750	4,340
飯豊町	1,260	1,200	1,160	642	633	539	8,090	7,600	6,250
置賜地域	13,151	12,622	12,400	623	614	585	81,990	77,490	72,500
県	64,700	62,900	61,500	622	626	594	402,400	393,800	365,300
置賜/県	20.3	20.1	20.2	100.2	98.1	98.5	20.4	19.7	19.8

注：数値は四捨五入の関係で市町合計と一致しない

資料：「農林水産統計」（農林水産省）

◇水稲うるちの品種別作付け状況

		令和元年		令和2年		令和3年		
		面積 (ha)	シェア (%)	面積 (ha)	シェア (%)	面積 (ha)	シェア (%)	
置賜	1位	はえぬき	7,125	55.1	7,148	55.1	7,127	55.7
	2位	つや姫	2,175	16.8	2,226	17.2	2,243	17.5
	3位	コシヒカリ	1,556	12.0	1,436	11.1	1,301	10.2
県	1位	はえぬき	38,732	61.5	38,726	61.2	38,119	61.5
	2位	つや姫	9,500	15.1	9,716	15.4	9,824	15.9
	3位	ひとめぼれ	4,945	7.9	4,601	7.3	4,183	6.8
	4位	コシヒカリ	2,928	4.7	(2,716)	(4.3)	(2,450)	(4.0)
		雪若丸			3,543	5.6	3,836	6.2

注：作付面積は、10a以上の水稲作付け生産者の申告面積

資料：山形県産米ブランド推進課調べ

置賜の水田面積約 19,974ha(R3)の内 8,661ha(43.4%)で主食用米以外の作物を作っている。転作作物としては、大豆やそば等の土地利用型作物や飼料等(飼料作物:牧草の他稲発酵粗飼料も含む、飼料用米)の作付けが多い。

◇作付面積と需給調整の状況について

(単位：ha)

		令和元年	令和2年	令和3年
主食用水稲面積	置賜	11,696	11,630	11,313
	県計(参考)	56,900	56,500	54,900
需給調整等面積計		8,341	8,366	8,661
合計		20,037	19,996	19,974

注：数値は四捨五入の関係で合計と一致しない

資料：「市町村別作物作付け実績」

(6) 園芸作物の栽培状況

令和2年の園芸作物の栽培面積について、野菜類では、置賜地域で県全体の10%を占めている。また、平成27年との比較では36%増加しており、理由として、水稲作付面積の減少に伴い「えだまめ」や「アスパラガス」などの栽培が増加したことが挙げられる。

花き類・花木では、農林業センサスの調査結果が未公表(x)となった市町もあることから、面積は県全体の6%、平成27年との比較では72%の減少となっている(「うち露地」+「うち施設」の合計が85haであることから、実際の減少幅は34%と推測される)。面積減少した理由としては、高齢化の進展等により、施設栽培を中心として農家が減少したことが挙げられる。

果樹類は、県全体の10%を占めているが、結果が未公表となった市町もあることから、平成27年との比較では36%減少しており、理由として農家の減少・高齢化が挙げられる。

◇販売目的で栽培した園芸作物栽培面積

(単位：ha)

	野菜類		花き類・花木				果樹類	
	H27	R2	H27	R2	うち露地	うち施設	H27	R2
県計	3,735	4,455	594	574	444	129	7,222	6,220
置賜計	341	464	129	35(85)	79	6	933	596
米沢市	72	78	12	x(3)	x	3	92	x
長井市	46	77	20	x(15)	15	x	37	x
南陽市	48	x	4	4	3	2	334	279
高島町	33	x	21	22	22	0	338	277
川西町	55	109	12	x(6)	6	x	84	x
小国町	5	56	0	x	x	x	0	x
白鷹町	49	101	52	x(27)	27	x	46	40
飯豊町	33	42	7	8	7	1	2	x

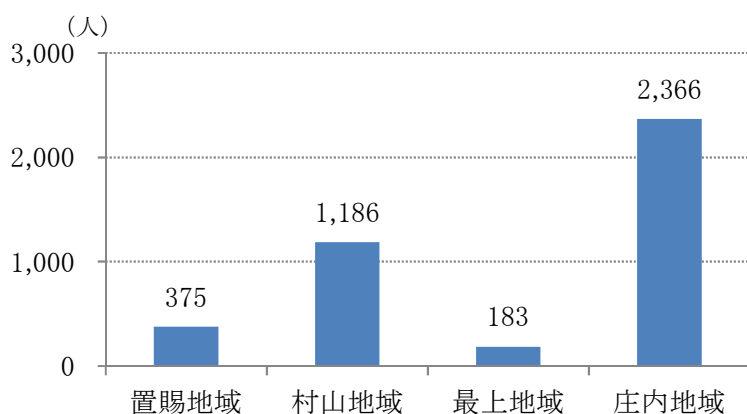
資料：「2015年農林業センサス」及び「2020年農林業センサス」（農林水産省）

(7) エコファーマーの認定状況

エコファーマーとは、『土づくり・減化学肥料・減化学農薬』の3つの技術に一体的に取り組む農業者で、持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律に基づき知事からその計画を認定された者（法人を含む）のことである。認定期間は5年間であるが、その後は計画を見直し、再度認定を受けることができる。

置賜地域では375人（令和4年3月末現在、県全体で4,110人）が認定を受けており、作目別の認定件数は、水稲、野菜、果樹の順となっている。

◇地域別エコファーマーの認定状況（令和4年3月末現在）



資料：山形県農林水産部農業技術環境課

令和4年7月1日に「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」が施行され、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」が廃止された。これに伴い、山形県持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画認定要領も廃止され、導入計画認定（再認定）申請の受付は令和4年6月30日をもって終了している。

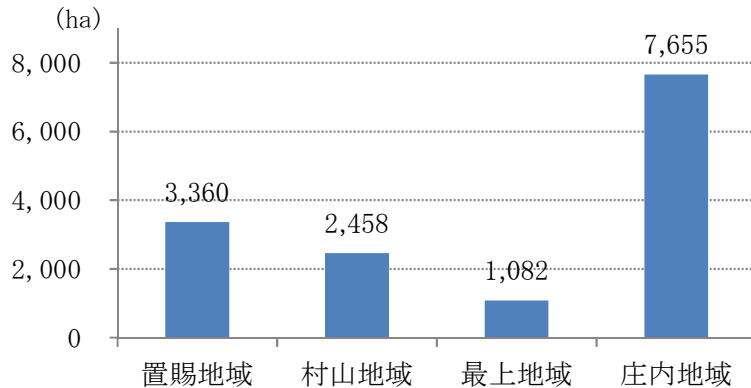
(8) 特別栽培農産物の認証状況

特別栽培農産物とは、その農産物が生産された地域の慣行レベルに比べ、化学合成農薬の使用回数が50%以下、かつ化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培された農産物のことである。

置賜地域では3,360ha（令和4年度）で認証を受けており、認証面積のうち99%が水稲となっている。

県全体では14,555ha（令和4年度）で認証を受けており、うち99%が水稲となっている。

◇特別栽培農産物の認証状況（令和4年度）



資料：山形県農林水産部農業技術環境課

(9) 家畜飼養状況

県全体に占める置賜地域の家畜飼養頭数の割合は、乳用牛は68.9%、肉用牛は24.2%、豚は18.5%である。1戸当たりの飼養頭数は、乳用牛は70頭で県平均の52頭を上回り、特に米沢市では437頭と最も多くなっている。一方、肉用牛は33頭で県平均52頭の約63%、豚は1,534頭で県平均1,397頭の約110%となっている。

◇家畜飼養状況（令和4年2月1日現在）

(単位：戸、頭)

	乳用牛			肉用牛			豚		
	飼養戸数	飼養頭数	1戸当たり	飼養戸数	飼養頭数	1戸当たり	飼養戸数	飼養頭数	1戸当たり
米沢市	6	2,606	437	36	2,385	66	X	4,210	X
長井市	8	283	35	31	862	28	X	X	X
南陽市	16	984	62	19	392	21	X	8,363	X
高畠町	29	1,030	36	22	326	15	X	236	X
川西町	9	141	16	92	1,833	20	X	4,390	X
小国町	X	X	X	13	324	25	X	X	X
白鷹町	28	1,484	53	26	551	21	X	X	X
飯豊町	5	590	118	62	3,177	51	X	X	X
置賜	102	7,124	70	301	9,850	33	14	21,470	1,534
山形県	200	10,356	52	775	40,631	52	83	115,973	1,397
置賜／県(%)	51.0	68.9	135	38.8	24.2	63	21.7	18.5	110

注：標本数4以下の戸数、頭数の表示については「農林水産統計年報」に準じた

資料：「農業振興課調べ」

(10) 農業農村整備の概況

① 水田の整備

置賜地域の水田整備率は73.3%で、県平均78.4%を下回っている。これは過去に旧整備水準（5a～20a）による耕地整理がなされた地域が多いことによるものである。

◇水田の整備状況（令和3年3月時点）

（単位：ha、%）

	整備対象面積	整備済面積	整備率
置賜地域	19,400	14,214	73.3
村山地域	20,600	15,712	76.3
最上地域	15,300	9,036	59.1
庄内地域	36,300	32,822	90.4
山形県	91,600	71,783	78.4

資料：山形県農林水産部農村整備課（令和3年3月時点）

② 農業用排水施設の整備

置賜地域の基幹的な農業用排水施設は、県内でも先駆的に国営及び県営かんがい排水事業等により造成されている。置賜地域の基幹的なかんがい（農業用水）施設の整備状況は84.4%で、県内平均の80.5%を上回っている。本県の基幹的なかんがい（農業用水）施設の整備率は80%に達しており、水田地帯では整備がほぼ完了した状況にある。しかし、一部施設は経年による老朽化が進行し、改修整備が必要となっている。

また、置賜地域には多くの農業用ため池が設置されており、基幹的なかんがい施設を補完する施設として整備が進められている。

◇農業用水施設の整備状況

（単位：ha、%）

	整備対象面積	整備済面積	整備率
置賜地域	20,500	17,300	84.4
村山地域	22,900	19,120	83.5
最上地域	15,600	7,750	49.7
庄内地域	36,600	32,770	89.5
山形県	95,600	76,940	80.5

資料：山形県農林水産部農村計画課（平成23年3月時点）

◇基幹的な農業用排水施設（受益面積概ね100ha以上）

（単位：カ所）

	米沢市	南陽市	高島町	川西町	長井市	小国町	白鷹町	飯豊町	置賜	山形県
貯水池(ダム等)	1		1	2			1	1	6	50
頭首工	3	1	3	1	1	2	1		12	58
用排水機場		4	3	1			4	1	13	163
用排水路等	30	10	32	20	16	2	7	5	122	710

資料：山形県農林水産部農村整備課「山形県基幹水利ストックマネジメントデータベース」（令和5年3月時点）

◇農業用ため池

(単位：カ所)

	米沢市	南陽市	高島町	川西町	長井市	小国町	白鷹町	飯豊町	置賜	山形県
農業用ため池	33	42	49	133	27	3	27	24	338	1,080

資料：山形県農林水産部農村整備課

③ 農業集落排水処理施設の整備

農業集落排水処理施設は農業用水等農村地域の水質保全と生活環境の改善のため、「第三次山形県全域生活排水処理施設整備基本構想」（令和3年3月改定）に基づき整備を進めている。

置賜地域における令和3年度末までの整備状況は、16処理区の整備が完了し、整備率は99.0%で、県全体の整備率を下回っている。

◇農業集落排水処理施設の整備状況(令和4年3月末現在)

(単位：人、%)

	整備対象処理人口	整備済処理人口	整備率
置賜地域	10,557	10,456	99.0
村山地域	14,193	14,024	98.8
最上地域	9,068	9,031	99.6
庄内地域	37,917	37,917	100.0
山形県	71,735	71,428	99.6

資料：山形県農林水産部農村整備課

④ 地籍調査

国土調査は国土調査法に基づき、国土の実態を科学的かつ総合的に調査し、国土の開発及び保全に資する等のため、地籍調査、土地分類調査及び水調査を行うものである。

「山形県第7次10カ年地籍調査計画」(R2～R11)では、県全体の調査対象面積5,611km²の51.5%、置賜地域では1,685km²の18.4%まで調査する計画となっている。

◇地籍の調査状況(令和5年3月末現在)

(単位：km²、%)

	全体面積	調査対象面積	調査済面積	進捗率
米沢市	548.5	440.6	30.1	6.8
南陽市	160.5	156.8	10.6	6.7
高島町	180.3	165.8	44.9	27.1
川西町	166.6	164.6	25.6	15.5
長井市	214.7	119.4	51.1	42.8
小国町	737.6	228.2	33.0	14.5
白鷹町	157.7	145.0	53.6	37.0
飯豊町	329.4	265.0	45.3	17.1
置賜	2,495.2	1,685.4	294.2	17.5
山形県	9,323.1	5,611.4	2,776.7	49.5

資料：山形県農林水産部農村計画課

(11) 森林の概況

置賜地域の国有林、民有林を合わせた森林面積は約 192 千haで、総面積に占める割合は 76.9%である。うち民有林面積は約 115 千haで森林面積の 59.8%を占め、県全体（47.2%）を上回っている。

また、民有林の人工林率は 28.3%となっており、県全体（39.4%）を下回っている。市町別では白鷹町が 56.6%と最も高く、次いで南陽市の 42.9%となっている。

民有林の蓄積量は、針葉樹、広葉樹合わせて 21,756 千m³となっており、うち令和 3 年度の素材生産量（伐採・利用された量）は約 101 千m³となっている。

◇土地面積及び森林面積

(単位：ha、%)

	総面積	森林面積			森林の割合
		国有林	民有林	計	
米沢市	54,851	9,643	32,316	41,958	76.5
長井市	21,467	8,926	5,722	14,647	68.2
南陽市	16,052	283	9,307	9,590	59.7
高島町	18,026	1,351	9,143	10,494	58.2
川西町	16,660	167	7,688	7,855	47.1
小国町	73,756	49,961	19,407	69,368	94.1
白鷹町	15,771	787	9,406	10,193	64.6
飯豊町	32,941	5,990	21,791	27,781	84.3
置賜	249,524	77,108	114,779	191,887	76.9
山形県	932,315	354,668	316,442	671,090	72.0
置賜／県	26.8	21.7	36.3	28.6	

注：単位未満四捨五入のため、各数の計と合計は一致しない場合がある。

資料：総面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(令和 5 年 1 月 1 日)」

森林面積は「令和 3 年度山形県林業統計」

◇民有林の資源構成

(単位：ha、%)

	民有林	内訳			人工林率
		人工林	天然林	その他	
米沢市	32,316	8,029	23,203	1,083	24.8
長井市	5,722	1,648	3,886	187	28.8
南陽市	9,307	3,995	5,007	306	42.9
高島町	9,143	2,785	6,069	288	30.5
川西町	7,688	1,436	6,025	227	18.7
小国町	19,407	4,292	12,575	2,539	22.1
白鷹町	9,406	5,321	3,768	316	56.6
飯豊町	21,791	4,940	15,704	1,146	22.7
置賜	114,779	32,447	76,238	6,094	28.3
山形県	316,442	124,696	174,723	17,003	39.4
置賜／県	36.3	26.0	43.6	35.8	

注：単位未満四捨五入のため、各数の計と合計は一致しない場合がある。

資料：「令和 3 年度山形県林業統計」

◇民有林の蓄積量(単位：千m³、%)

区分	総数	針葉樹蓄積量	広葉樹蓄積量
米沢市	6,084	3,360	2,725
長井市	1,039	628	411
南陽市	2,489	1,864	624
高畠町	1,841	1,082	759
川西町	1,216	601	615
小国町	3,042	1,641	1,401
白鷹町	2,613	2,198	415
飯豊町	3,433	1,681	1,752
置賜	21,756	13,055	8,701
山形県	70,607	48,745	21,862
置賜／県	30.8	26.8	39.8

注：単位未満四捨五入のため、各数の計と合計は一致しない場合がある。

資料：「令和3年度山形県林業統計」

◇素材生産量の推移

(単位：m³)

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
素材生産量	63,071	60,391	76,147	109,080	100,054	104,137	101,437

資料：置賜総合支庁森林整備課調査資料

10 教育、文化及び県民生活

(1) 学校数及び児童・生徒・学生数

令和5年4月1日現在、置賜地域には小学校、中学校67校（小学校49、中学校18）が設置されている。（令和4年5月1日現在の小・中学校の児童・生徒数は14,071人で、県全体の約2割）

また、高等教育機関は3校（国立大学法人山形大学工学部、山形県公立大学法人山形県立米沢栄養大学、同県立米沢女子短期大学）、高等学校は14校（県立高校11〈普通校7、実業校4〉、私立高校3）、特別支援学校は1校（県立米沢養護学校）が設置されている。

近年、少子高齢化に伴う児童・生徒数の減少等、学校や子どもたちを取り巻く社会情勢や教育環境が大きく変化しており、児童・生徒の「生きる力」を育成するための教育が求められている。

本県では、令和2年3月に「第6次山形県教育振興計画（後期計画）」を策定し、「人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり」を基本目標に掲げ、他者を尊重し自己を大切に思う自尊感情の更なる育成や主体的・協働的な学びによる確かな学力の育成、地域課題を発見・解決する力の育成等を目指した各種施策を展開することとしている。

また、管内小・中学校においては、「考える力を育む授業づくり、自尊感情を育む集団づくり、健康でたくましい体づくり、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」等を通して、知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成を着実に推進している。

◇小学校、中学校、高等学校数（令和5年4月1日現在）

	小学校数						中学校数						高校数
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
米沢市	18	18	18	16	16	14	8	7	7	7	7	7	6
長井市	6	6	6	6	6	6	2	2	2	2	2	2	2
南陽市	7	7	7	7	7	7	3	3	3	3	3	3	1
高畠町	6	6	6	6	6	6	1	1	1	1	1	1	1
川西町	6	6	6	6	6	6	1	1	1	1	1	1	1
小国町	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
白鷹町	4	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	1	1
飯豊町	4	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	1	0
計	53	53	53	51	51	49	19	18	18	18	18	18	14

注：小・中学校数は休校中を除いた数

◇小学校、中学校、高等学校児童・生徒数（令和4年5月1日現在）

	小学校児童数					中学校生徒数					高 校 生徒数
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	R4
米沢市	4,148	4,033	3,896	3,708	3,590	2,202	2,148	2,062	2,079	2,029	2,965
長井市	1,253	1,242	1,199	1,186	1,166	703	653	638	615	600	701
南陽市	1,544	1,485	1,464	1,423	1,370	780	786	770	766	744	366
高畠町	1,259	1,228	1,208	1,186	1,133	649	646	620	621	624	215
川西町	693	680	639	614	602	360	367	395	382	349	174
小国町	349	336	318	304	289	191	171	166	175	177	134
白鷹町	660	675	648	600	573	334	309	315	349	358	60
飯豊町	339	335	326	305	313	172	187	180	179	154	-
計	10,245	10,014	9,698	9,326	9,036	5,391	5,267	5,146	5,166	5,035	4,615

注：高校生徒数は学校所在地別

資料：「令和4年度学校基本調査」

◇幼稚園（令和4年5月1日現在）

	幼稚園数				認可定員数 (人)	在園者数(3~5歳児) (人)	修了者数 (人)
		国立	公立	私立			
米沢市	5	-	-	5	830	343	122
長井市	1	-	-	1	120	72	28
南陽市	1	-	1	-	175	52	60
高島町	1	-	-	1	180	123	60
川西町	3	-	2	1	510	194	64
小国町	-	-	-	-	-	-	-
白鷹町	-	-	-	-	-	-	-
飯豊町	1	-	1	-	60	-	-
置賜	12	-	4	8	1,875	784	334
山形県	59	1	9	49	8,571	4,805	1,987

注：修了者数は令和4年3月現在

資料：「令和4年度学校基本調査」

参考：就園率(小学校1学年の児童数に対する幼稚園修了者数の割合)…置賜24.7%、県25.7%、全国37.2%

◇山形県立米沢栄養大学（学生数）（令和5年5月1日現在）

(単位：人)

学 部	学科名	1 年	2 年	3 年	4 年	計
		健康栄養学科	43	45	45	41
	合計	43	45	45	41	174

大学院 修士課程	健康栄養科学 専攻	3	2	—	—	5
	合計	3	2	—	—	5

注：大学院は平成30年4月1日開設

◇山形県立米沢女子短期大学（学生数）（令和5年5月1日現在）

(単位：人)

学科名	1 年	2 年	計
国語国文学科	100	103	203
英語英文学科	51	49	100
日本史学科	53	52	105
社会情報学科	50	60	110
合計	254	264	518

◇山形大学工学部（学生数）（令和5年5月1日現在）

（単位：人）

	学科名	1年生	2年生	3年生	4年生	計
学 部	機能高分子工学科	-	-	-	2	2
	物質化学工学科	-	-	-	-	-
	バイオ化学工学科	-	-	-	-	-
	情報科学科	-	-	-	-	-
	電気電子工学科	-	-	-	-	-
	高分子・有機材料工学科	155	134	140	146	575
	化学・バイオ工学科	147	140	137	158	582
	情報・エレクトロニクス学科	168	146	157	179	650
	機械システム工学科	162	131	137	161	591
	建築・デザイン学科	40	31	33	39	143
	システム創成工学科	52	51	50	52	205
	合計	724	633	654	737	2748

大学院 博士前期 課程	物質化学工学専攻	-	-	-	2	2
	情報科学専攻	-	-	-	-	-
	機械システム工学専攻	-	-	-	-	-
	ものづくり技術経営学専攻	-	-	-	-	-
	化学・バイオ工学専攻	-	-	-	-	-
	情報・エレクトロニクス専攻	155	134	140	146	575
	建築・デザイン・マネジメント専攻	147	140	137	158	582
	有機材料システム専攻	168	146	157	179	650
	合計	162	131	137	161	591

大学院 博士後期 課程	バイオ工学専攻	-	4	1	-	5
	電子情報工学専攻	-	5	4	-	9
	機械システム工学専攻	-	-	2	-	2
	ものづくり技術経営学専攻	-	6	7	-	13
	物質化学工学専攻	-	2	3	-	5
	有機材料システム専攻	6	12	26	-	44
	先進工学専攻	10	-	-	-	10
	合計	16	29	43	-	88

(2) 進学及び就職状況

◇中学校・高等学校（令和4年3月卒業生）

置賜地域の中学校卒業生の進学率は、99.1%と県全体の99.5%を0.4ポイント下回っており、全国の98.8%を0.3ポイント上回っている。

一方、高等学校卒業生の進学率は、47.3%と前年の43.7%を3.6ポイント上回り、県全体の49.5%、全国の59.5%に比べて低い数値となっている。

また、高等学校卒業生の就職率は26.7%と前年の28.8%を2.1ポイント下回り、県全体の25.2%、全国の14.7%に比べ高い数値となっている。

(単位:%)

	中学校		高等学校	
	進学率	就職率	進学率	就職率
米沢市	99.1	0.3	46.3	26.3
長井市	99.5	0.5	52.3	24.8
南陽市	99.6	0.4	47.3	23.6
高畠町	99.5	0.5	44.2	32.7
川西町	96.9	-	41.1	33.6
小国町	98.3	-	47.1	24.3
白鷹町	99.0	-	54.2	25.4
飯豊町	100.0	-	47.8	21.7
置賜	99.1	0.3	47.3	26.7
村山	99.5	0.0	51.6	22.5
最上	99.1	-	41.3	26.8
庄内	99.7	0.2	46.8	30.6
山形県	99.5	0.1	49.5	25.2
全国	98.8	0.1	59.5	14.7

資料：「令和4年度学校基本調査」

◇山形県立米沢栄養大学（令和5年4月30日現在）

（単位：人）

	学科名	就職	進学	その他	計
学 部	健康栄養学科	40	0	2	42
	合計	40	0	2	42

◇山形県立米沢女子短期大学（令和5年4月30日現在）

（単位：人）

	就職	4大等 編入学	専門学校 等入学	その他	計
国語国文学科	50	18	3	15	86
英語英文学科	20	23	1	5	49
日本史学科	26	21	0	10	57
社会情報学科	41	8	1	3	53
合計	137	70	5	33	245

◇山形大学工学部（令和5年4月15日現在）

（単位：人）

	学科名	就職	進学	その他	計
学 部	高分子・有機材料工学科	30	103	9	142
	機能高分子工学科	1	0	0	1
	化学・バイオ工学科	64	75	5	144
	物質化学工学科	1	0	0	1
	バイオ化学工学科	1	0	0	1
	情報・エレクトロニクス学科	65	74	5	144
	機械システム工学科	65	73	5	143
	建築・デザイン学科	18	9	0	27
	システム創成工学科	22	21	4	47
	合計	267	355	28	650

大学院 博士前期 課程	化学・バイオ工学専攻	56	3	0	59
	情報・エレクトロニクス専攻	56	2	1	59
	情報科学専攻	1	0	0	1
	機械システム工学専攻	61	1	0	62
	建築・デザイン・マネジメント専攻	8	0	3	11
	ものづくり技術経営学専攻	2	0	0	2
	有機材料システム専攻	105	5	0	110
	合計	289	11	4	304

大学院 博士後期 課程	物質化学工学専攻	4	0	0	4
	バイオ工学専攻	1	0	0	1
	電子情報工学専攻	2	0	0	2
	有機材料システム専攻	8	0	0	8
	合計	15	0	0	15

(3) 主な文化施設

置賜地域における博物館・資料館は 22 施設、美術館・ギャラリーは 8 施設、ホール・集会施設は 22 施設となっている。博物館・資料館は、米沢市及び高畠町に多く設置されており、ほとんどが歴史（民俗）を中心テーマとしたものである。

◇文化施設（令和 4 年度末）

	博物館・資料館	美術館・ギャラリー	ホール・集会施設
米沢市	上杉博物館 稽照殿（宝物館） 宮坂考古館 置賜民俗資料館 我妻栄記念館 織物歴史資料館 原始布・古代織参考館 東光の酒蔵（酒造）	「ナセBA」よねざわ市民ギャラリー	置賜文化ホール 市民文化会館 置賜総合文化センター 座の文化伝承館
長井市	文教の杜「丸大扇屋」 古代の丘資料館	文教の杜「長沼孝三彫塑館」 地場産業振興センター（TAS）	市民文化会館 地場産業振興センター（TAS） 置賜生涯学習プラザ 文教の杜「小桜館」
南陽市	結城豊太郎記念館 熊野大社考古館 夕鶴の里資料館	赤湯公民館「えくぼプラザ」ギャラリー 交流プラザ蔵楽	市文化会館「シェルターなんようホール」 赤湯公民館「えくぼプラザ」 ゆーなびからころ館 語り部ホール（夕鶴の里語り部の館） 交流プラザ蔵楽
高畠町	浜田広介記念館 県立うきたむ風土記の丘考古資料館 郷土資料館 高畠民俗資料館		文化ホール「まほら」 ひろすけホール（浜田広介記念館） 糠野目生涯学習センター
川西町	埋蔵文化財資料展示館 掬粹巧芸館（陶磁）	フレンドリープラザギャラリー 中央公民館	フレンドリープラザ 交流館あいばる
小国町	白い森くらしの資料館		開発総合センター
白鷹町	白鷹町歴史民俗資料館「あゆみしる」	文化交流センター「あゆむ」	勤労者総合福祉センター 文化交流センター「あゆむ」
飯豊町	白川ダム記念館（古民家・民具）		町民総合センター「あ〜す」

(4) 主な伝統文化

置賜地域における伝統芸能は、神社等の祭礼として発展したものが多く、長井市、白鷹町を中心に獅子舞（百足獅子）が多数残っている。

伝統工芸は、米沢織、長井紬、白鷹紬等の織物、深山和紙、笹野一刀彫等数多く残っている。



(5) 主な文化財

置賜地域の国指定文化財 42 点のうち、国宝は絵画 1 点（米沢市：洛中洛外図屏風）、古文書 1 点（米沢市：上杉家文書）である（県内の国宝 計 6 点）。それ以外は、重要文化財 27 点、重要有形民俗文化財 1 点、文化的景観 1 点、記念物 13 点となっている。

また、県指定文化財は、有形 85 点、無形 2 点、民俗 4 点、記念物 24 点、合計 115 点となっている。

◇国宝以外の重要文化財等の数（令和 5 年 3 月 31 日時点）

	重要文化財								民俗文化財 重要有形	民俗文化財 重要無形	文化的景観	天然記念物 特別	記念物				計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡典籍	古文書	考古資料	歴史資料					史跡	名勝	史跡名勝	天然記念物	
米沢市	1	3		13	1	2		2	1				5				28
長井市											1					2	3
南陽市													1				1
高畠町								3					4				7
川西町				1									1				2
小国町																	
白鷹町	1																1
飯豊町																	
計	2	3		14	1	2	3	2	1		1		11			2	42
県内計	29	7	11	30	4	7	6	2	10	6	2	3	29	8	1	13	168

注：主な国指定文化財

米沢市：旧米沢高等工業学校本館、上杉家墓所、上杉治憲敬師郊迎跡、鎭山城跡

長井市：久保ザクラ、草岡の大明神ザクラ 南陽市：稲荷森古墳 高畠町：日向・大立・一の沢・火箱岩洞窟

川西町：掬粋巧芸館所蔵「染付飛鳳唐草文八角瓢形花生」 白鷹町：観音寺観音堂（深山観音）

◇県指定文化財の数（令和 5 年 3 月 31 日時点）

	有形文化財									無形文化財	民俗文化財		記念物			計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料		有形	無形	史跡	名勝	天然記念物	
米沢市	1	4	7	14	2				1		1	1		3	34	
長井市	1		3				2		1		1				8	
南陽市	4	1	1	1					7			1		3	18	
高畠町	4		4					1	1		1	2		2	15	
川西町	1		2	14				1	1		1	2		1	23	
小国町												1*		1	2	
白鷹町	2		1							2				6	11	
飯豊町	1		2									2*			5	
計	14	5	19	29	2		2	2	11	2	4	8		16	115	
県内計	47	77	73	104	29	11	3	21	31	3	7	22	31	2	67	528

注：記念物・史跡：「飯豊山の穴堰」が、小国町と飯豊町にまたがるため、2町に計上。計は実数。

◇置賜管内における「未来に伝える山形の宝」(令和4年度末)

地域にのこる有形・無形の様々な文化財(山形の宝)を保存・活用する取組みを、「未来に伝える山形の宝」として登録・推進することで、文化財の保護を図るとともに、郷土に対する誇りと愛着を育み、地域活性化や新たな交流の拡大につなげていくことを目的としている。

置賜管内における登録状況は以下のとおりである。

①重点テーマ「最上川の文化的景観、自然的特性、歴史的・文化的特性を活かした取組み」

米沢市：直江石堤と米沢市芳泉町の生垣・町並み景観

白鷹町：最上川における近世舟運文化 黒滝編

長井市：重要文化的景観 最上川上流域における長井の町場景観

②推奨テーマ「山形県の自然及び歴史・文化の特徴や魅力を活かした取組み」

米沢市：置賜地方の草木塔が語りかける自然と人間の共生

南陽市：白竜湖 心の原風景を未来へ

高島町：「安久津八幡」～千年の夢をつなぐ～

川西町：下小松古墳群と希少な自然が織りなす里山の風景

飯豊町：十三峠街道と宇津峠 青苧とイザベラ・バードの道

小国町：黒沢峠敷石道を未来へ

米沢市：笹野観音堂と西国三十三観音 歴史と伝統の息づく里

南陽市：東北の熊野信仰を後世へ ～百年の想いを、次の百年に～

米沢市：萬世大路 山形県の近代化の礎となった明治日本における最先端の土木産業遺産

(6) 県民活動・NPOの状況

近年、ボランティアグループや市民活動団体など民間の非営利活動団体(NPO)の社会貢献活動が活発化している。こうしたNPOの活動は、多様化・複雑化する住民ニーズに対応し、個性豊かで活力ある地域づくりを進めていく上で、重要な役割を担っていくものと期待されている。行政においても、NPO活動団体との協働を進めていくことが重要になっている。

管内においては、118の特定非営利活動法人(NPO法人)をはじめ、福祉や環境保全、まちづくりといった様々な分野で、多数の団体が積極的な活動を展開している。

◇置賜管内NPO法人数(令和5年4月1日現在)

	登録総数
米沢市	65
長井市	10
南陽市	15
高島町	7
川西町	8
小国町	5
白鷹町	4
飯豊町	4
計	118

(7) 交通事故発生状況

◆県

令和4年の交通事故死者数は26人で、前年の24人と比較して2人増加した。発生件数は2,970件で214件減、負傷者数は3,469人で291人減となった。

死亡事故の主な特徴としては、65歳以上の高齢者の交通事故死者数が17人と前年に比較して1人増加し、全死者数の65%を占めた。

◆置賜地域

令和4年の交通事故死者数は3人で、前年の4人と比較して1人減少した。発生件数は454件で22件減、負傷者数は554人で17人減となった。

死亡事故の主な特徴としては、65歳以上の高齢者の交通事故死者数が2人と前年と比較して2人減少したが、全死者数の67%を占めた。

◇交通事故発生状況

市町名	令和4年						令和3年					
	発生件数		死者(人)		負傷者(人)		発生件数		死者(人)		負傷者(人)	
米沢市	216	▲6.1	1	-	249	▲4.6	230	▲3.8	1	皆増	261	▲6.1
長井市	32	▲5.9	0	-	35	▲16.7	34	▲43.3	0	-	42	▲40.8
南陽市	79	▲12.2	0	皆減	108	▲6.1	90	36.4	1	▲50.0	115	47.4
高島町	42	▲23.6	0	-	53	▲19.7	55	-	0	皆減	66	▲5.7
川西町	36	1.0	0	-	43	▲2.3	33	▲15.4	0	-	44	▲13.7
小国町	21	75.0	1	▲50.0	23	76.9	12	▲25.0	2	100.0	13	▲23.5
白鷹町	17	41.7	1	皆増	24	71.4	12	▲29.4	0	-	14	▲30.0
飯豊町	11	10.0	0	-	19	18.8	10	150.0	0	皆減	16	220.0
置賜計	454	▲4.6	3	▲25.0	554	▲3.0	476	▲4.0	4	▲20.0	571	▲3.2
県計	2,970	▲6.7	26	8.3	3,469	▲7.7	3,184	▲4.3	24	▲20.0	3,760	▲5.4

注：各欄右記は、前年対比増減率(%)

(8) 火災発生状況

令和4年の置賜地域における火災発生状況を前年と比較すると、発生件数は13件の減、損害額は16,421千円の増となった。また、負傷者数及び死者数は前年と同数となった。

◇火災発生状況(令和4年12月31日現在)

区 分	火災発生件数		損害額(千円)		負傷者(人)		死者(人)	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
米沢市	19	16	22,386	13,311	4	5	1	0
長井市	6	10	14,621	32,504	1	0	0	2
南陽市	11	11	45,782	36,343	3	4	0	0
高島町	11	15	14,738	23,554	6	1	1	0
川西町	6	13	50,372	12,258	0	1	1	0
小国町	8	5	5,632	4,192	1	1	1	0
白鷹町	3	4	1,438	1,461	0	1	0	1
飯豊町	4	7	66	14,991	0	2	0	1
置賜	68	81	155,035	138,614	15	15	4	4
山形県	284	310	746,439	463,415	70	40	20	21

◇火災発生種別件数及び損害額の内訳(令和4年12月31日現在)

区 分		建物	林野	車両	その他	爆発	計
米沢市	件数	11	1	2	5		19
	損害額(千円)	22,181	0	125	80		22,386
長井市	件数	3	0	0	3		6
	損害額(千円)	13,044	0	0	1,577		14,621
南陽市	件数	8	0	1	2		11
	損害額(千円)	44,613	0	1,169	0		45,782
高島町	件数	7	2	1	1		11
	損害額(千円)	10,333	0	4,405	0		14,738
川西町	件数	4	0	0	2		6
	損害額(千円)	50,372	0	0	0		50,372
小国町	件数	3	1	1	3		8
	損害額(千円)	2,371	0	3,261	0		5,632
白鷹町	件数	1	1	1	0		3
	損害額(千円)	1,438	0	0	0		1,438
飯豊町	件数	2	0	0	2		4
	損害額(千円)	66	0	0	0		66
置 賜	件数	39	5	6	18		68
	損害額(千円)	144,418	0	8,960	1,657		155,035
山形県	件数	176	17	30	61		284
	損害額(千円)	718,257	358	18,434	9,390		746,439

注：火災発生種別区分の爆発件数（ ）書きは、建物とその他火災件数の内数である。

参考表：過去の県内での火災発生件数

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
470	362	380	415	376	462	372	311	336	305	332	308	310	284

(9) 自主防災組織の整備状況

置賜地域の自主防災組織の組織率は85.4%であり、県平均を下回っている。

◇自主防災組織整備状況（令和5年4月1日現在）

区 分	自主防災組織数	全世帯数	組織されている 地域の世帯数	組織率(%)	
				令和5年	令和4年
米沢市	226	33,472	23,657	70.7	70.4
長井市	109	10,020	9,946	99.3	98.7
南陽市	151	11,478	11,299	98.4	98.4
高畠町	102	7,793	7,661	98.3	98.3
川西町	7	5,000	5,000	100.0	100.0
小国町	48	2,951	2,050	69.5	64.3
白鷹町	25	4,707	4,707	100.0	100.0
飯豊町	32	2,166	1,908	88.1	89.0
置賜	700	77,587	66,228	85.4	85.0
山形県	3,588	419,403	385,129	91.8	91.8

11 環 境

(1) 廃棄物対策

① 一般廃棄物の処理

ア ごみの排出量

1人1日当たりのごみの排出量は、令和3年度は862gとなっている。

◇ごみの排出量の推移

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
排出量 (t) (市町村による処理量)	置賜地域	63,476	63,358	63,971	61,838	61,688
	対県比	17.1%	17.3%	17.5%	18.3%	18.5%
1人1日排出量 (g)	置賜地域	833	841	859	845	862
	県全体	920	915	922	901	904

資料：山形県環境エネルギー部 循環型社会推進課

イ ごみ処理及びし尿処理の状況（令和3年度末現在）

ごみ処理施設は、公共施設が長井市設置1施設及び置賜広域行政事務組合設置4施設、民間施設が22施設設置されている。最終処分場は、公共施設が1施設、民間施設が3施設であり、埋立処分量は横ばいの状況となっている。

し尿処理施設は、置賜広域行政事務組合の3施設が稼動しており、処理量は減少傾向にある。

◇一般廃棄物の処理状況

(単位：t、し尿はkL)

		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
焼却施設		53,213	53,816	54,338	53,349	52,513
焼却施設以外の 処理施設	粗大ごみ	3,100	3,433	3,596	3,708	3,445
	資源化施設	2,610	2,110	2,438	2,446	2,345
	堆肥化・飼料化	582	413	435	493	462
最終処分場		7,849	7,949	8,932	7,745	7,948
し尿処理（生し尿、浄化槽汚泥）		57,715	58,098	57,396	55,086	55,194

資料：山形県環境エネルギー部 循環型社会推進課

② 産業廃棄物の処理

置賜地域の処理業者数は県全体の18%に相当する。

産業廃棄物処理施設の許可を受けた中間処理施設数は県全体の17%、最終処分場数は県全体の31%で、中間処理量は県全体の18%、最終処分量は50%に相当する。最終処分量は2年連続で減少している。

◇産業廃棄物処理施設数等（令和3年度末）

	管内	県全体
産業廃棄物処理業者数	245	1,396
中間処理施設数	51(4)	301(22)
最終処分場数（安定型）	1(1)	5(1)
最終処分場数（管理型）	4(0)	11(1)

注：産業廃棄物処理業者数：産業廃棄物処理業者数と特別管理産業廃棄物処理業者数の合計。県内に事業所等がない者を除く。
 施設数：廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の設置許可施設数。（ ）は自社処理施設で内数。
 最終処分場は埋立終了した施設を除く

◇産業廃棄物の処理状況

(単位：t)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R3年度県全体
中間処理量	306,441	279,320	262,763	285,039	1,585,903
うち排出事業者	1,207	429	0	0	62,762
うち処理業者	305,234	278,891	262,763	285,039	1,523,141
最終処分量	95,733	100,108	81,993	77,706	156,488
うち排出事業者	0	0	0	0	0
うち処理業者	95,733	100,108	81,993	77,706	156,488

注：処理実績について、それぞれの数値を四捨五入しており、合計値が合わないことがある。

資料：山形県ホームページ 廃棄物・リサイクルの状況（産業廃棄物処理）

③ 廃棄物の不法投棄防止対策

令和3年度末における不法投棄箇所は1箇所であり、令和4年度の新規発見箇所はなかった。原状回復の実施はなかったことから、令和4年度末の不法投棄箇所は1箇所となっている。

◇不法投棄箇所（30㎡以上）

	米沢市	長井市	南陽市	高島町	川西町	小国町	白鷹町	飯豊町	置賜
R3年度末箇所数	0	0	0	0	0	0	0	1	1
R4年度新規発見数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R4年度原状回復数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R4年度末箇所数	0	0	0	0	0	0	0	1	1

④ 使用済自動車の再資源化

使用済自動車は、再資源化が図られており、自動車リサイクル法に基づく管内の登録、許可業者数は下表のとおりである。

◇登録・許可業者数（令和4年度末）

登録	引取業	38
	フロン類回収業	9
許可	解体業	6
	破砕業	3

(2) 環境保全対策

① 大気汚染の状況

大気汚染の状況については、米沢金池測定局と長井高野測定局の2箇所で常時監視を行っている。二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質及び微小粒子物質（PM2.5）の令和4年度の測定結果は、いずれも環境基準を達成している。光化学オキシダントについては、令和4年度はいずれの局も全国の傾向と同じく環境基準（1時間値が0.06ppm以下）を達成できなかったが、注意報発令基準（0.12ppm）には至っていない。

② 水質汚濁の状況

河川・湖沼については、令和4年度は14河川4湖沼の22地点で水質測定を実施し、測定した全ての地点で公共用水域の水質汚濁に係る環境基準を達成している。

③ 地下水の状況

地下水については、令和4年度は汚染井戸周辺地区調査、継続監視調査及び地下水汚染対策調査を実施し、その結果は下表のとおりである。

なお、環境基準値の超過が確認された場合は、当該地点の周辺地区に対して必要に応じて関係機関と飲用指導している。

◇地下水水質調査結果（令和4年度末）

区分	調査地点	調査結果（環境基準超過）
汚染井戸周辺地区調査	1町2地点	環境基準超過なし
継続監視調査	7市町15地点 （地下水汚染対策調査米沢市2地点含む）	砒素7地点、有機塩素系化学物質4地点
地下水汚染対策調査	米沢市内13地点 （継続監視調査2地点含む）	有機塩素系化学物質9地点

④ ダイオキシン類

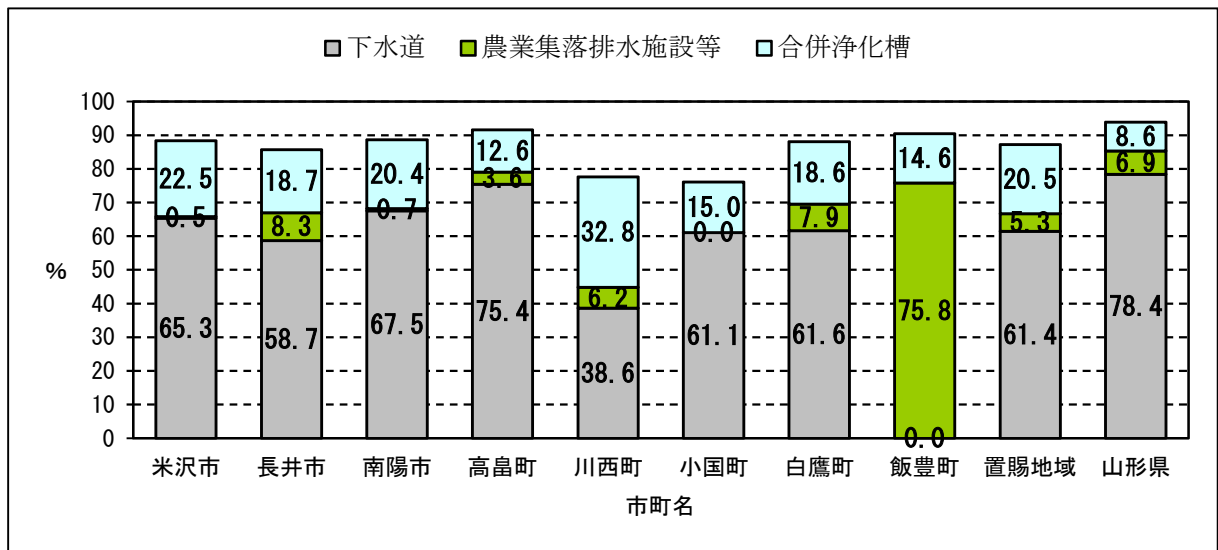
ダイオキシン類については、令和4年度は、大気2地点、公共用水域水質3地点、公共用水域底質3地点で測定を実施し、全ての測定地点で環境基準を達成していた。

また、令和4年度の廃棄物焼却施設等事業者による自主測定では、休止中を除く11事業所から排ガス検査結果の報告があり、全て基準値以内であった。

⑤ 生活排水処理対策

令和3年度末の置賜地域の生活排水処理施設普及率は、県全体の93.9%から6.7ポイント低い87.2%である。また、県全体に比べ、下水道の処理率が低く合併浄化槽による処理率が高い。

◇生活排水処理施設普及率（令和3年度末）



資料：山形県環境エネルギー部 水大気環境課

◇大気汚染防止法・水質汚濁防止法等の届出対象事業場数（令和4年度末）

大気汚染防止法	ばい煙発生施設事業場	232
	揮発性有機化合物排出施設事業場	1
	一般粉じん発生施設事業場	57
水質汚濁防止法	排水基準適用特定事業場	178
	排水基準非適用特定事業場	871
ダイオキシン類対策特別措置法	大気関係特定施設設置事業場	12
	水質関係特定施設設置事業場	1
フロン排出抑制法	第一種フロン類充填回収業者登録事業所	46

(3) 自然環境の保全等

① 自然公園等

すぐれた自然の風景地として指定される地域であり、管内には、「磐梯朝日国立公園」と「県南県立自然公園」の2つの自然公園が指定されている。

また、置賜地域には、県内のすぐれた自然地域のうち、後世に伝えていくべき貴重な地域として、長期的視野に立って保全するため「ヌルマタ沢・野川」、「沼ノ口湿原」の2つの自然環境保全地域、並びに、生物の多様性の確保にとって良好な状態を維持している身近な自然環境を保全するために「下小松里山環境保全地域（川西町）」が指定されている。

各種指定地域の保全活動等を行うため、国立公園には自然公園管理員5人、自然環境保全地域には自然環境保全地域管理員2人を配置している。

◇自然公園

	面積(ha)	所在市町村	指定日
磐梯朝日国立公園	71,116		S25.9.5
うち出羽三山・朝日地域	54,213	小国町 ほか 6 市町村	
うち飯豊地域	10,093	飯豊町、小国町	
うち吾妻地域	6,810	米沢市	
県南県立自然公園	10,124	南陽市、高畠町	S36.9.1

◇自然環境保全地域

	面積(ha)	所在市町村	指定日
ヌルマタ沢・野川	4,016	長井市 ほか 1 町	S50.3.10
沼ノ口湿原	7	飯豊町	S58.5.4

◇里山環境保全地域

	面積(ha)	所在市町村	指定日
下小松（眺山丘陵の一部）	156	川西町	H15.3.28

② 鳥獣の保護及び狩猟の適正化

ア 鳥獣保護

13 地域を鳥獣保護区に指定し、イヌワシ、クマタカ等の大型猛禽類や水鳥を始め、ツキノワグマ等の大型獣類の保護を図っている。

市街化地域付近の銃猟による人身事故や危険防止を目的として、19 地区を特定猟具使用禁止区域に指定している。

また、管内全市町に、鳥獣保護管理員 14 名を配置し、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を推進している。

イ 鳥獣類の各種被害の軽減

置賜地域は、野生鳥獣による農作物への被害が多い地域である。

ツキノワグマの目撃件数については、令和 4 年は前年より増加し 199 件となった（令和 3 年 101 件）。

ニホンザルについては、管内市町ほぼ全域にサル群が出没しており、農作物被害が発生している。また、カワウやサギ類などによる内水面漁業被害も発生している。

イノシシについては、生息の回復に伴い農業被害が増加傾向にあるが、捕獲頭数は、令和 4 年度は 463 頭と令和 3 年度と比較して 178 頭減少した。

ニホンジカについても、目撃件数は、令和 3 年は 53 件であった（令和 2 年 20 件）。

鳥獣による人的被害、農林漁業被害対策として、関係機関や各猟友会と連携し、効果的な捕獲を実施する。併せて、市町農林所管課では、各種被害防止対策を実施し、被害減少に努めている。

◇狩猟者登録数（令和 4 年度）

（単位：人）

	網 猟	わな猟	第 1 種銃猟	第 2 種銃猟	計
米沢市	6	63	86	1	156
長井市	2	46	35	2	85
南陽市	2	57	56	0	115

高畠町	1	46	64	1	112
川西町	3	13	28	3	47
小国町	1	24	82	0	107
白鷹町	3	48	38	1	90
飯豊町	0	11	22	0	33
他市町	0	1	8	0	9
置賜	18	309	419	8	754

◇主な鳥獣許可数・捕獲数（令和4年度）

（単位：頭）

	ニホンザル		ツキノワグマ			イノシシ		
	許可頭数	許可捕獲頭数	許可頭数	許可捕獲頭数	狩猟捕獲	許可頭数	許可捕獲頭数※	狩猟捕獲頭数
米沢市	150	52	49	33	0	300	88	0
長井市	0	0	7	4	0	145	57(45)	13
南陽市	15	2	18	6	0	300	84	8
高畠町	150	66	15	11	0	300	80	6
川西町	30	2	8	5	0	25	1	11
小国町	245	77	40	24	0	73	37(23)	4
白鷹町	0	0	16	8	1	172	33(15)	34
飯豊町	20	0	21	10	1	30	4	3
置賜	610	199	174	101	2	1,345	384(83)	79

※イノシシの捕獲頭数欄の（ ）内の数字は令和4年度に実施した指定管理鳥獣捕獲事業（環境省事業）を活用し捕獲した頭数実績。該当市町（長井市・小国町・白鷹町）で捕獲したイノシシの全体捕獲頭数に係る内数を記載。

③ 里の名水・やまがた百選

県では、平成27年度から、良好な水質と水量を有すること、地域住民等による保全活動が行われていることなどを条件に、親水性と利活用、自然景観、水質・水量のいずれかが優れている湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、県内外に紹介している。令和4年度末現在、置賜地域では、11箇所が選定されている。



慶次清水 (H28)



滝の清水 (H29)



三階滝 (H27)



ブナしずく (H28)



澄心の泉 (H30)



若返りの水 (H30)



知恵の水 (H30)



岩清水 (H30)



館清水 (R1)



知恵の水 (利根水) (R1)

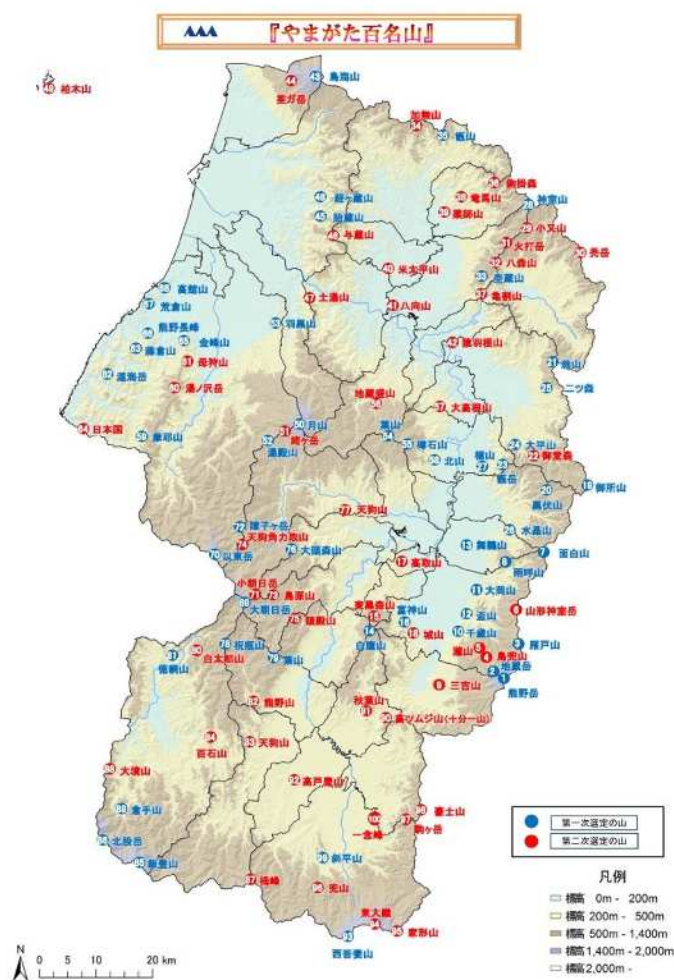


清浄水 (R3)

※（ ）は選定年度

④ やまがた百名山

平成 28 年から 8 月 11 日が「山の日」として祝日に制定されたことを契機に、県では、「やまがた百名山」を選定し、地域の宝である山に光を当て、健康増進とともに、山の魅力を認識し愛着を高め、その魅力を発信することにより山岳観光の振興につなげていくことを目指している。置賜地域では、祝瓶山など 26 座が選定されている。



◇置賜地域のやまがた百名山

祝瓶山	徳綱山	しろたるうやま 白太郎山
葉山	頭殿山	しらたかやま 白鷹山
百石山	熊野山	てんぐさん 天狗山
秋葉山	高ツジ山	おおざかいやま 大境山
倉手山	高戸屋山	いちねんぼう 一念峰
駒ヶ岳	豪士山	きたまただけ 北股岳
飯豊山	梅峰	かぶとやま 兜山
斜平山	西吾妻山	ひがしだいてん 東大巖
家形山	大朝日岳	

(以上 26 座)

(4) 地球温暖化防止対策

① 地球温暖化防止対策の推進

地域住民、事業者、市町、置賜総合支庁で構成される「置賜地域地球温暖化対策協議会」(平成 18 年 3 月設立)が中心となり、山形県地球温暖化対策実行計画に掲げた目標達成に向けた活動(環境講座や温暖化防止に関する啓発事業等)を実施している。

また、市町単位の協議会とも連携し、地球温暖化防止県民運動として、CO₂削減に向けた家庭及び事業所の取組みを引続き推進していく。

② 置賜地域における脱炭素社会形成の取組み

産学官金で組織する「置賜地域脱炭素社会形成推進協議会」において情報共有及び意見交換のほか、再生可能エネルギー導入促進に向けたセミナーの開催により、地域の資源を利活用した再生可能エネルギーの導入促進を図っている。

12 保健福祉と医療

(1) 保健・福祉・医療の主要指標

項 目		年次	単位	置賜	県	置賜／県(%)
人口	総人口	R4. 10	人	195,994	1,040,971	18.8
	老年人口 (65 歳以上)	〃	〃	68,814	362,008	19.0
	老年人口比率	〃	%	35.1	34.8	—
	年少人口 (15 歳未満)	〃	人	20,772	113,436	18.3
	年少人口比率	〃	%	10.6	10.9	—
	出生数	R2	人	1,083	6,217	17.4
	出生率 (人口千対率)	〃	‰	5.4	5.9	—
	合計特殊出生率	R3	人	1.26	1.32	—
	死亡数	R2	人	3,013	15,348	19.6
	死亡率 (人口千対率)	〃	‰	15.1	14.5	—
福祉	要支援・要介護認定者数	R5. 1	人	12,138	63,756	19.0
	介護保険施設入所者数	〃	〃	2,603	11,713	22.2
	保育所入所児童数	R4. 4	〃	4,916	25,733	19.1
	身体障がい者数 (手帳交付者数)	R4. 3	〃	9,369	50,145	18.7
	知的障がい者数 (〃)	〃	〃	1,890	9,282	20.4
	精神障がい者数 (〃)	〃	〃	1,225	6,656	18.4
	生活保護受給者数	〃	〃	1,555	7,943	19.6
医療	病院数	R5. 4	箇所	15	67	22.4
	病院病床数	〃	床	2,395	14,042	17.1
	一般診療所数	〃	箇所	146	894	16.3
	歯科診療所数	〃	〃	73	458	15.9
	医師数	R2. 12	人	400	2,608	15.3
	歯科医師数	〃	〃	115	678	17.0
	薬剤師数	〃	〃	348	2,129	16.4
	看護職員数	〃	〃	2,664	15,639	17.0
	薬局・医薬品販売業者数 (薬局、店舗販売業、卸売)	R5. 4	箇所	193	1,023	18.9
保健	精神医療費公費負担受給者数	R4. 3	人	3,079	13,238	23.3
	特定医療費 (指定難病) 受給者数	R4. 3	〃	1,560	7,851	19.8
	小児慢性特定疾病医療費受給者数	〃	〃	146	605	24.1
	新規結核登録患者数	R3. 12	〃	14	87	16.0

注：人口に関する数値は「令和4年山形県の人口と世帯数」に、出生数、死亡数、医師数、歯科医師数及び薬剤師数は「令和2年保健福祉統計年報[山形県健康福祉部]」合計特殊出生率は「少子化・次世代育成支援対策関係データ集 (令和5年2月山形県しあわせ子育て応援部)」による。

看護職員数は「令和2年衛生行政報告例 (就業医療関係者)」による。

精神医療費公費負担受給者数は、自立支援医療の精神通院医療受給者数について記入している。

薬局・医薬品販売業者数は、令和5年3月31日現在の暫定値。

(2) 生活保護の現況

置賜地域における令和4年3月の被保護世帯数は1,316世帯、被保護者数は1,555人で、保護率は0.77%となっており、県全体の0.74%を0.03ポイント上回っている。

置賜地域の市町で保護率が最も高いのは米沢市で1.00%、最も低いのは南陽市で0.49%となっている。

◇保護率の推移

(単位：%)

	R2年3月	R3年3月	R4年3月
米沢市	0.97	0.99	1.00
長井市	0.77	0.74	0.77
南陽市	0.45	0.44	0.49
高畠町	0.67	0.66	0.69
川西町	0.51	0.49	0.50
小国町	0.49	0.53	0.51
白鷹町	0.55	0.57	0.54
飯豊町	0.77	0.71	0.85
置賜	0.75	0.75	0.77
山形県	0.73	0.73	0.74
全国	1.64	1.63	1.63

◇被保護世帯の状況

(単位：世帯、人)

	R2年3月		R3年3月		R4年3月	
	世帯数	保護人員	世帯数	保護人員	世帯数	保護人員
米沢市	670	802	674	808	680	814
長井市	166	206	161	195	170	205
南陽市	123	140	128	137	135	148
高畠町	125	154	124	151	132	154
川西町	59	76	57	72	58	73
小国町	33	36	34	38	33	36
白鷹町	62	73	64	74	61	69
飯豊町	44	53	41	48	47	56
置賜	1,282	1,540	1,283	1,523	1,316	1,555
山形県	6,586	8,000	6,591	7,906	6,669	7,943

注：世帯数には、停止を含む。

(3) 高齢者福祉の現況

置賜地域における、65歳以上の高齢者が人口に占める割合は35.1%と、県全体の34.4%に比して0.7ポイント高くなっている。

一人暮らし高齢者の出現率は13.1%で、県全体の12.9%に比して0.2ポイント高くなっている。最も高い小国町が15.1%、最も低い高島町が11.1%であり、市町間の差が大きい。

◇一人暮らし高齢者の状況（令和4年4月1日現在）

(単位：人、%)

	65歳以上人口		一人暮らし 高齢者数	
		割合		出現率
米沢市	25,254	32.5	3,323	13.2
長井市	9,484	37.0	1,260	13.3
南陽市	10,353	34.3	1,503	14.5
高島町	7,659	34.3	849	11.1
川西町	5,605	39.3	678	12.1
小国町	2,926	41.8	441	15.1
白鷹町	5,094	39.4	654	12.8
飯豊町	2,574	38.9	315	12.2
置賜	68,949	35.1	9,023	13.1
山形県	361,456	34.4	46,631	12.9

注：割合＝65歳以上人口／総人口

出現率＝一人暮らし高齢者数／65歳以上人口

(4) 介護保険、要支援・要介護認定の現況

令和5年1月現在の要支援・要介護認定者数は、置賜地域で12,138人、県全体で63,756人である。

また、令和3年度の介護保険料の見直しにより、置賜地域における介護保険料の基準月額額は、最も低い白鷹町で5,850円、最も高い飯豊町で6,680円となっている。

◇要支援・要介護認定状況（令和5年1月現在）

(単位：人)

	認定者数	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
米沢市	4,502	909	1,082	879	566	643	423
長井市	1,582	274	376	332	226	241	133
南陽市	1,838	417	480	269	240	256	176
高島町	1,374	261	298	232	211	215	157
川西町	1,005	174	160	218	192	170	91
小国町	560	132	116	114	57	76	65
白鷹町	857	176	189	198	121	110	63
飯豊町	420	111	67	70	57	78	37
置賜	12,138	2,454	2,768	2,312	1,670	1,789	1,145
山形県	63,756	13,185	13,290	12,471	9,572	9,060	6,178

◇保険料基準月額の様況

(単位：円、%)

	H15～17	H18～20	H21～23	H24～26	H27～29	H30～R2	R3～R5	R3/H30 増減率
米沢市	3,458	4,250	4,075	5,225	5,750	5,750	6,100	6.1
長井市	3,447	4,276	4,292	4,617	5,640	5,980	5,990	0.2
南陽市	3,459	3,926	3,800	4,700	5,400	6,400	6,400	0.0
高畠町	3,150	3,900	3,400	4,700	5,300	5,900	5,900	0.0
川西町	3,000	4,120	4,040	4,200	5,400	5,900	5,900	0.0
小国町	3,633	4,041	4,217	4,625	5,311	5,890	5,890	0.0
白鷹町	3,000	3,700	3,550	4,381	5,148	5,850	5,850	0.0
飯豊町	2,940	3,960	4,150	5,290	6,895	6,850	6,680	-2.5
置賜平均	3,261	4,022	3,941	4,717	5,606	6,065	6,089	0.4
山形県平均	3,107	3,799	3,902	4,784	5,644	6,022	6,110	1.5

注：置賜平均は単純平均、山形県平均は加重平均

◇指定居宅サービス事業者数（令和5年4月1日現在）

	訪問 介護	訪問 入浴	訪問 看護	訪問 リハ	管理 指導	通所 介護	通所 リハ	短期 生活	短期 療養	特定施 設入所 者生活 介護	福祉 用具 貸与	福祉 用具 販売	計
米沢市	28	3	6	2	2	23	2	7	4	4	8	8	97
長井市	5	0	2	1	0	5	1	3	2	3	4	4	30
南陽市	5	1	2	1	0	6	2	3	3	1	2	2	28
高畠町	3	0	1	0	0	8	0	3	0	0	2	2	19
川西町	1	0	1	0	0	2	1	1	1	0	2	2	11
小国町	1	0	1	0	0	2	1	1	1	1	1	1	10
白鷹町	1	0	1	1	0	2	1	3	1	0	1	1	12
飯豊町	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
置賜	46	4	15	5	2	48	9	22	12	9	20	20	212
山形県	216	23	85	20	17	291	48	148	49	44	88	88	1,117

注：保険医療機関等のみなし指定事業所及び休止中の事業所を除く

(5) 少子化の現況

出生数、出生率の低下により少子化傾向が続いており、国全体の大きな政策課題となっている。様々な要因が重なった構造的な問題である少子化に対して、長期的な視点に立って、粘り強く集中的に対策を進めていくため、県は令和2年3月、「やまがた子育て応援プラン」（計画期間令和2年度～令和6年度）を策定し、地域の実情に応じた結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目ない支援を行う。

◇「出生数」の推移（県・置賜・市町別）

（単位：人）

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成29年	令和2年	令和3年
米沢市	1,153	1,074	969	888	915	731	714	529	557	439	428
長井市	451	390	312	330	291	237	218	188	183	153	148
南陽市	508	469	378	304	353	248	255	236	220	197	178
高畠町	391	334	286	222	254	215	196	176	149	118	110
川西町	296	255	176	181	165	147	114	94	87	65	64
小国町	159	136	116	104	72	53	55	52	38	22	16
白鷹町	246	213	186	157	136	95	90	70	60	52	42
飯豊町	139	126	75	69	70	57	51	46	50	37	32
置賜	3,343	2,997	2,498	2,255	2,256	1,783	1,693	1,391	1,344	1,083	1,018
山形県	16,871	14,893	12,555	11,507	10,919	9,357	8,651	7,831	7,259	6,217	5,898

資料：少子化・次世代育成支援対策関係データ集（令和5年2月山形県しあわせ子育て応援部）

◇「合計特殊出生率」の推移（県・置賜・市町別）

（単位：%）

	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和元年	令和2年	令和3年
米沢市	1.80	1.81	1.73	1.61	1.71	1.46	1.60	1.29	1.32	1.27	1.25
長井市	2.07	1.95	1.70	1.93	1.87	1.66	1.66	1.60	1.37	1.44	1.33
南陽市	2.14	2.06	1.84	1.55	1.91	1.36	1.54	1.51	1.46	1.52	1.41
高畠町	2.00	1.94	1.91	1.62	1.80	1.62	1.60	1.61	1.60	1.32	1.23
川西町	1.96	1.85	1.61	1.89	1.90	1.74	1.49	1.47	1.65	1.21	1.41
小国町	2.17	2.04	2.10	2.19	1.62	1.45	1.60	1.80	1.55	1.19	0.93
白鷹町	2.19	2.11	2.18	2.04	1.89	1.40	1.46	1.25	1.35	1.21	1.05
飯豊町	2.12	2.10	1.62	1.74	1.76	1.51	1.39	1.62	1.52	1.56	1.54
置賜	1.97	1.92	1.78	1.71	1.79	1.51	1.58	1.43	1.40	1.33	1.26
山形県	1.93	1.87	1.75	1.69	1.62	1.45	1.48	1.48	1.40	1.37	1.32

資料：少子化・次世代育成支援対策関係データ集（令和5年2月山形県しあわせ子育て応援部）

(6) 児童福祉施設等の現況

置賜地域では、児童の総数、その総人口に占める割合ともに減少してきており、令和4年10月1日現在における18歳未満児童数の人口に占める割合は、13.3%となっている。

国、県、市町村の連携のもと、保育施設における特別保育事業（延長保育、一時保育、乳児保育、病後児保育等）や放課後児童対策など、子どもを健やかに生み育てるための対策の積極的な推進を図る。

◇児童及び保育所等の状況

(単位：人、%)

	児童の状況（令和4年10月1日現在）			保育所等の状況（令和4年4月1日現在）				
	18歳未満児童数	18歳未満の総人口に占める割合	6歳未満児童数	施設数	定員	入所児童数	入所率	待機児童数
米沢市	10,371	13.0	2,776	26	2,043	1,998	97.8	—
長井市	3,397	13.2	969	9	601	577	96.0	—
南陽市	4,062	13.7	1,148	10	799	827	103.5	—
高畠町	3,152	14.5	776	7	766	604	78.9	—
川西町	1,746	12.6	454	5	259	271	104.6	—
小国町	838	12.3	162	3	186	148	79.6	—
白鷹町	1,586	12.8	367	4	370	330	89.2	—
飯豊町	859	13.6	215	3	200	161	80.5	—
置賜	26,011	13.3	6,867	67	5,224	4,916	94.1	—
山形県	141,269	13.6	38,445	426	30,414	25,733	84.6	—

資料：令和4年山形県の人口と世帯数—山形県社会的異動人口調査結果報告書—（令和5年2月山形県みらい企画創造部）、保育所等利用待機児童調査（R4.4.1現在）（山形県しあわせ子育て応援部子ども保育支援課）

◇特別保育事業等実施施設数

(単位：人)

	令和4年4月1日現在				令和4年5月1日現在	
	保育所数	延長保育	一時保育	乳児保育	地域子育て支援センター(注)	放課後児童クラブ
米沢市	15	15	3	15	5	35
長井市	4	4	1	4	3	11
南陽市	6	6	3	5	3	11
高畠町	2	2	2	2	1	7
川西町	3	3	1	3	1	5
小国町	2	2	2	2	1	1
白鷹町	2	2	2	2	1	5
飯豊町	—	—	—	—	1	2
置賜	34	34	14	33	16	77
山形県	225	223	102	206	109	344

注：地域子育て支援センターは保育施設として、地域での子育て家庭の育児支援を実施する機能を併せ持つ施設
資料：令和4年度保育及び児童健全育成関係資料集（令和4年9月山形県しあわせ子育て応援部子ども保育支援課）

(7) 障がい福祉の現況

障がい者が障がいを持たない人と同じように生活し活動する社会を目指し、障がい者がライフステージのすべての段階で生きがいをもって社会参加できるようにという「ノーマライゼーション」の理念に基づき、障がい者の福祉の増進が図られている。

◇各手帳の交付を受けた障がい者(児)数(令和4年3月31日現在)

(単位:人)

	身体障がい者			知的障がい者		精神障がい者					
	1級	2級	3~6級	A	B	1級	2級	3級			
米沢市	3,651	1,131	386	2,134	710	226	484	537	97	264	176
長井市	1,129	370	92	667	230	78	152	149	39	65	45
南陽市	1,375	423	160	792	314	98	216	212	60	105	47
高島町	993	268	95	630	192	51	141	125	34	67	24
川西町	759	240	56	463	163	42	121	71	12	37	22
小国町	365	105	39	221	70	19	51	27	7	15	5
白鷹町	615	197	52	366	134	45	89	72	18	34	20
飯豊町	482	125	36	321	77	21	56	32	7	18	7
置賜	9,369	2,859	916	5,594	1,890	580	1,310	1,225	274	605	346
山形県	50,145	14,933	5,645	29,567	9,282	3,071	6,211	6,656	1,459	3,215	1,982

(8) 医療関係施設の現況

置賜地域には一般病院（療養型を含む）13施設、精神病院2施設がある。開設者別では、国立病院1施設（米沢市）、県立病院等3施設（長井市、南陽市、川西町）、市・町立病院4施設（米沢市、高畠町、小国町、白鷹町）、私立病院7施設（米沢市4、長井市1、南陽市1、川西町1）となっている。

◇医療関係施設数（令和5年4月1日現在）

	病院	診療所		歯科診療所	助産所	計	病院許可病床数					病診療所 病床数
		総数	有床				一般	療養	精神	結核	感染症	
米沢市	6	60	5	33	2	1,141	847	174	120			40
長井市	2	21	1	11	1	250	50	50	150			8
南陽市	2	28	1	13		164	50		114			11
高畠町	1	12		9		130	94	36				
川西町	2	9		4		605	446	109	46		4	
小国町	1	3		1		45	45					
白鷹町	1	8		2		60	60					
飯豊町		5										
置賜	15	146	7	73	3	2,395	1,592	369	430	0	4	59
山形県	67	894	45	458	16	14,042	8,546	2,063	3,415	0	18	454(33)

注：診療所病床数欄（ ）は、療養病床で内数

◇病院の概要（令和5年4月1日現在）

	許可病床数					
	計	一般	療養	精神	結核	感染症
公立置賜総合病院	496	446		46		4
米沢市立病院	322	322				
公立高畠病院	130	94	36			
小国町立病院	45	45				
白鷹町立病院	60	60				
三友堂病院	185	185				
医療法人舟山病院	174	120	54			
独立行政法人国立病院機構米沢病院	220	220				
公立置賜長井病院	50	50				
公立置賜南陽病院	50	50				
三友堂リハビリテーションセンター	120		120			
川西湖山病院	109		109			
佐藤病院	114			114		
吉川記念病院	200		50	150		
米沢こころの病院	120			120		
計	2,395	1,592	369	430	0	4

(9) 基準病床数

基準病床数は、病院及び診療所の病床の適正配置を図ることを目的として、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 30 条の 4 第 2 項第 12 号の規定に基づき、山形県保健医療計画において定められたものである。

なお、療養病床及び一般病床については二次保健医療圏ごとに、精神病床及び感染症病床は県全域を対象に定められたものである。

◇基準病床数（令和 5 年 4 月 1 日現在）

病床の種別	区域	基準病床数	既存病床数
療養病床及び一般病床	置賜	1,708	1,886
	村山	5,154	5,255
	最上	596	837
	庄内	2,385	2,545
	合計	9,843	10,523
精神病床	県全域	3,076	3,415
結核病床	県全域	15	0
感染症病床	県全域	20	18

(10) 死因別死亡数

令和2年の死亡総数は、前年と比べ置賜地域で34人増加し、県全体で371人減少している。死因別にみると置賜地域・山形県ともに、悪性新生物、心疾患、老衰の順に多く、全体の半数を占めている。

◇死因別死亡数

		置賜			山形県		
		人	割合(%)	順位	人	割合(%)	順位
死亡総数	死亡数	3,013	100.0	/	15,348	100	/
	対10万	1537.3			1474.4		
悪性新生物	死亡数	720	23.9	1	3,890	25.3	1
	対10万	367.4			373.7		
心疾患 (高血圧症を除く)	死亡数	469	15.6	2	2,379	15.5	2
	対10万	239.3			228.5		
老衰	死亡数	322	10.7	3	1,904	12.4	3
	対10万	164.3			182.9		
脳血管疾患	死亡数	315	10.5	4	1,439	9.4	4
	対10万	160.7			138.2		
肺炎	死亡数	156	5.2	5	792	5.2	5
	対10万	79.6			76.1		
その他の 呼吸器系の疾患※	死亡数	151	5.0	6	699	4.6	6
	対10万	77.0			67.1		
アルツハイマー病	死亡数	111	3.7	7	448	2.9	7
	対10万	56.6			43.0		
血管性及び詳細 不明の認知症	死亡数	110	3.7	8	377	2.5	9
	対10万	56.1			36.2		
不慮の事故	死亡数	87	2.9	9	431	2.8	8
	対10万	44.4			41.4		
腎不全	死亡数	65	2.2	10	308	2.0	10
	対10万	33.2			29.6		
その他	死亡数	507	16.8	/	2,681	17.5	/
	対10万	258.7			257.5		

※誤嚥性肺炎、間質性肺疾患等

資料：「令和2年保健福祉統計年報(第I編 人口動態統計編)[山形県健康福祉部]」

「令和2年人口動態統計(確定数)の概況(山形県分)[山形県健康福祉部]」

13 社会資本

(1) 道路の現況

置賜地域は、国道13号及び287号を南北方向の軸とし、国道113号を東西方向の軸としており、さらにこれらを補完する国道121号、348号、399号等を合わせて主要幹線道路網の骨格が構成されている。

高規格幹線道路については、現在の東北中央自動車道米沢北 IC～南陽高島 IC (8.8km) が一般有料道路「米沢南陽道路」として平成9年11月21日に供用開始し、直轄高速方式により福島 JCT～福島大笹生 IC 間(1.4km)が平成28年9月11日、福島大笹生 IC～米沢北 IC 間(34.4km)が平成29年11月4日に供用開始。また、有料道路方式により南陽高島 IC～山形上山 IC (24.4km) が平成31年4月13日に供用開始した。

地域高規格道路の新潟山形南部連絡道路については、赤湯バイパス (7.2km) が平成21年3月27日に供用開始し、平成20年度から事業に着手した梨郷道路 (7.2km) が令和5年度中に開通予定である。また、小国道路 (12.7km) は令和元年度から事業に着手しており、調査・設計を推進しているとともに、小国～飯豊区間については令和5年度より計画段階評価を進めるための調査に着手予定である。

◇道路の整備状況 (令和5年4月1日現在)

	路線数	実延長(km)	橋梁数	改良率 (%)	改良率 (全県)(%)	舗装率 (%)	舗装率 (全県)(%)
一般国道	5	123.4	116	93.7	92.7	98.4	97.1
主要地方道	13	268.3	232	88.7	92.3	89.7	94.2
一般県道	49	318.4	235	87.3	86.8	88.7	89.4
市町道	7,069	3,739.5	1,878	51.6	68.1	65.8	81.0
計	7,136	4,449.6	2,461	57.6	72.3	69.8	83.2

注：一般国道は県管理区間延長
一般県道の自転車（1路線）は、上記に含まない。

◇高規格幹線道路の整備状況 (令和5年3月末現在)

	予定路線延長 (km)	供用延長(km)	供用率(%)
山形県	340	286	84
東北	1,882	1,767	94
全国	11,520	10,274	89

注：全国は旬刊高速道路（発行：全国高速道路建設協議会）による。
東北は山形県独自集計

◇地域高規格道路の整備状況 (令和5年3月末現在)

(単位:km)

	計画延長	供用延長	供用率(%)
新潟山形南部連絡道路	50	7	14
県内合計(上記含む)	100	29	29

注：上記の延長は計画路線のみで候補路線は含まない。

(2) 鉄道の現況

置賜地域には2社3路線の鉄道が通り、県内で唯一全市町村に鉄道駅がある地域である。駅の数も最多の38駅（接続駅は1駅として数えた場合）であるが、その多くは無人駅となっている。

JR奥羽本線は福島方面から米沢市・高畠町・南陽市を山形方面へ南北に縦貫し、米沢駅から分岐するJR米坂線が米沢市・川西町・長井市・飯豊町・小国町を経て新潟方面、赤湯駅から分岐する山形鉄道フラワー長井線が南陽市・川西町・長井市・白鷹町を結んでいる。

また米坂線とフラワー長井線は今泉駅で接続し、奥羽本線と併せて環状の線路網を形成している。奥羽本線を利用する山形新幹線は、置賜地域と首都圏を約2時間で結んでいる。

◇主要駅の乗車人員推移（年度）

（千人）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
東日本旅客鉄道株式会社線											
米沢	869.8	919.1	939.5	896.1	912.9	917.6	887.7	872.0	811.4	488.7	538.7
高畠	312.8	323.8	339.8	321.6	326.3	322.4	315.7	308.1	278.5	202.6	211.3
赤湯	496.4	521.6	535.1	507.4	509.5	506.9	493.5	482.5	457.5	301.9	335.1
羽前小松	110.6	110.2	125.9	117.5	123.4	123.0	117.5	105.9	95.2	70.4	70.8
今泉	90.9	85.8	82.5	73.4	79.2	79.8	82.1	84.0	73.9	53.3	48.2
羽前椿	30.3	31.4	16.1	13.5	12.8	9.9	7.7	9.1	9.5	10.6	9.1
小国	48.2	44.9	39.4	35.8	38.7	41.4	39.8	42.3	45.4	39.4	34.3
計	1,959.0	2,036.8	2,078.3	1,965.3	2,002.8	2,001.0	1,944.0	1,903.9	1,771.4	1,166.9	1,247.6
山形鉄道株式会社線											
赤湯	83.7	80.3	73.0	70.0	68.0	66.7	66.0	65.9	60.5	42.0	48.0
宮内	113.7	109.0	99.2	95.1	92.3	90.6	89.7	89.5	82.3	57.1	65.3
今泉	76.8	73.6	67.0	64.2	62.4	61.2	60.6	60.5	55.2	38.3	43.8
長井	124.2	119.1	108.3	103.8	100.8	98.9	98.0	97.8	89.7	62.3	71.1
荒砥	72.6	69.6	63.3	60.7	58.9	57.8	57.3	57.1	52.5	36.4	41.7
計	471.0	451.6	410.8	393.8	382.4	375.2	371.6	370.8	340.2	236.1	269.9
合計	2,430.0	2,488.4	2,489.1	2,359.1	2,385.2	2,376.2	2,315.6	2,274.7	2,111.6	1,403.0	1,517.5

資料：JR東日本ホームページ及び山形鉄道資料提供

(3) 河川の現況

置賜地域は、大部分が最上川水系に属しており、最上川本川が地域を南北に貫流し、これに大小の支川が流入している。また、小国町は荒川水系に属しており、荒川は県境において西に向かって流れている。

◇河川の整備状況（法指定河川）（令和4年3月31日現在）

	河川本数	管理延長(km)	整備率 (県)(%)	整備率 (置賜)(%)
全水系	554	2,819.5	43.9	48.5
最上川水系(東南置賜)	50	340.0	—	48.2
最上川水系(西置賜)	46	189.9	—	48.7
荒川水系	23	159.8	—	

注：国土交通省管理延長分を除く。

(4) 砂防の現況

土砂災害から生命、財産を守るため、砂防事業や地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業等が進められている。

◇土石流危険渓流の整備状況（令和5年3月31日現在）

	箇所数	整備率(%)
東南置賜	349	21.0
西置賜	186	37.7
置賜	535	26.7
山形県	1,842	30.6

注：国土交通省施行分を除く。

◇地すべり危険箇所の整備状況（令和5年3月31日現在）

	箇所数	概成箇所数	概成率(%)
東南置賜	20	6	30.0
西置賜	32	8	25.0
置賜	52	14	26.9
山形県	230	73	31.7

注：「概成箇所数」…地すべり対策事業が完了している箇所数

◇急傾斜地崩壊危険箇所の整備状況（令和5年3月31日現在）

	箇所数	概成箇所数	概成率(%)
東南置賜	131	24	18.3
西置賜	79	12	15.2
置賜	210	36	17.1
県	1,325	327	24.7

注：「概成箇所数」…急傾斜地崩壊対策事業が完了している箇所数

(5) ダムの整備状況

置賜地域のダム（堤高15m以上）は8箇所である。

◇ダムの整備状況（令和4年3月31日現在）

ダム名	河川名	目的※1	形式※2	有効貯水容量 (千m ³)	所属	竣工
木地山	置賜野川	流・発	中空・重力式C	6,400	山形県(県土整備部)	S36.3
赤芝	荒川	発	重力式C	1,632	赤芝水力発電株	S29.7
蛭沢	蛭沢川	か	土堰堤	2,075	米沢平野土地改良区	S23
水窪	刈安川	か・工・水	ロックフィルダム	30,500	農林水産省	S50
白川	置賜白川	治・か・発・水・工・流	ロックフィルダム	41,000	国土交通省	S56.10
長井	置賜野川	治・か・発・水・流	重力式C	48,000	国土交通省	H23.3
横川	横川	治・発・工・流	重力式C	19,100	国土交通省	H20.3
綱木川	綱木川	治・水・流	ロックフィルダム	8,300	山形県(県土整備部)	H19.6

※1 治：洪水調整、か：かんがい、発：発電、水：水道、工：工業用水、流：流水の正常な機能の維持

※2 C：コンクリートダム

(6) 上水道の普及状況

置賜地域の水道普及率は、年々向上しているが(97.6%)、県平均の99.0%を下回っている。

◇上水道の普及状況（令和4年3月31日現在）

	人口 (人)	上水道	簡易水道		専用水道				計	普及率 (%)
		給水人口 (人)	数	給水人口 (人)	自己水源のみによるもの		左記以外のもの		給水人口 (人)	
					数	給水人口 (人)	数	給水人口 (人)		
米沢市	77,565	76,996	2	89	1	3	2	0	77,088	99.4
長井市	25,734	24,909							24,909	96.8
南陽市	30,148	29,010							29,010	96.2
高島町	22,345	22,282							22,282	99.7
川西町	14,028	13,922							13,922	99.2
小国町	7,003	4,453	7	722	1	0			5,175	73.9
白鷹町	12,923	12,676							12,676	98.1
飯豊町	6,616	6,334	2	181					6,515	98.5
置賜	196,362	190,582	11	992	2	3	2	0	191,577	97.6
山形県	1,057,053	1,018,882		20,809				336	1,040,027	98.4

注 表中の「数」について、簡易水道は事業の数、専用水道は水道の数を記載した。

注 空欄は該当する水道がないものである。

注 置賜は米沢市、長井市、南陽市、高島町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町の総数である。

注 山形県は県の総数である。専用水道の給水人口は水源の種類で区別せず総数を記載した。

(7) 都市計画の現況

置賜地域においては、飯豊町を除く3市4町で都市計画区域が定められ計画的な土地利用、都市整備が図られている。

都市の骨格を形成する街路については、地域全体で110路線が都市計画決定されているが、整備率は県平均より低い。

都市生活に潤いと安らぎを与える都市公園については、地域全体で53か所が開設されているが、1人あたりの都市公園面積は県平均を下回っている。

◇都市計画区域の状況（令和4年3月31日現在）

	置賜	山形県
行政区域面積(ha)	216,583	827,961
都市計画区域面積(ha)	19,486	124,854
行政区域に占める率(%)	9.0	15.1
行政区域内人口(人)	189,800	1,031,700
都市計画区域内人口(人)	147,600	886,400
占める率(%)	77.8	85.9

注：県の行政区域面積及び人口は、都市計画区域が定められていない市町村を除く。

資料：「山形県の都市計画」

◇街路の整備状況（令和4年3月31日現在）

	置賜	山形県
計画決定延長(m)	273,510	1,276,185
改良済延長(m)	123,404	767,707
整備率(%)	45.1	60.2

資料：「山形県の都市計画」

◇都市公園の開設状況（令和4年3月31日現在）

	置賜	山形県
都市公園開設面積(ha)	193.64	1,172.29
1人あたりの都市公園面積(m ² /人)*	13.1	13.2

*県の目標値は20m²/人(H27まで)。全国平均9.4m²/人(H19年度末)

参考：主な開設済都市公園 米沢総合公園（米沢市）、あやめ公園（長井市）

(8) 県営住宅の整備状況

置賜地域には、23団地780戸の県営住宅が整備されている。

◇県営住宅の管理戸数（令和5年3月31日現在）

	団地名	戸数
米沢市	城北団地	16
	太田町団地	60
	春日団地	56
	中田第2団地	48
	玉の木団地	24
	成島団地	30
	米沢中央団地	32
	中田第1団地	96
	相生団地	72
長井市	屋城町団地	12
	小出団地	48
	成田団地	16
南陽市	関口団地	44
	桜木団地	32
高島町	糠野目団地	24
	大町団地	16
	糠野目第2団地	24
川西町	舘之北団地	18
小国町	小国団地	48
白鷹町	白鷹団地	24
	宝前町団地	10
	あらと団地	18
飯豊町	飯豊団地	12
計		780

(9) 飛行場の整備状況

米沢市八幡原地内に公共用ヘリポートが設置されている。

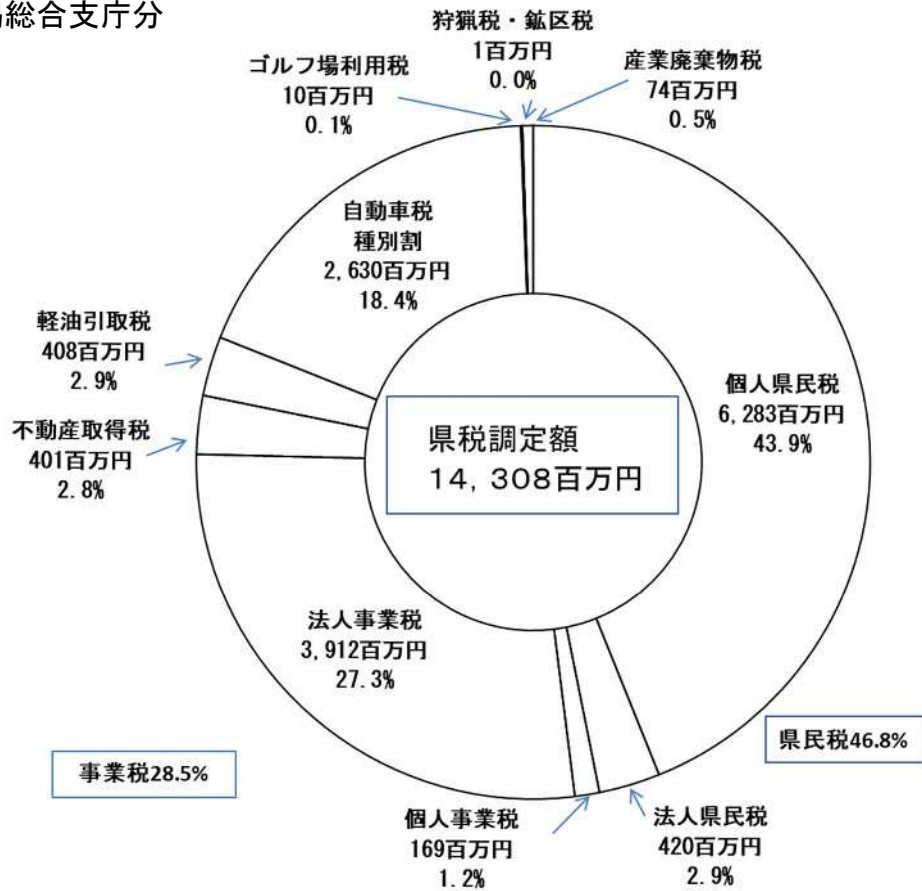
◇米沢ヘリポートの概要（令和5年3月31日現在）

名称	米沢ヘリポート(平成4年4月1日供用開始)
運用日	365日(午前9時から午後5時(日没が午後5時前のときは日没の時間)まで)
使用機種	最大離陸重量 9トン

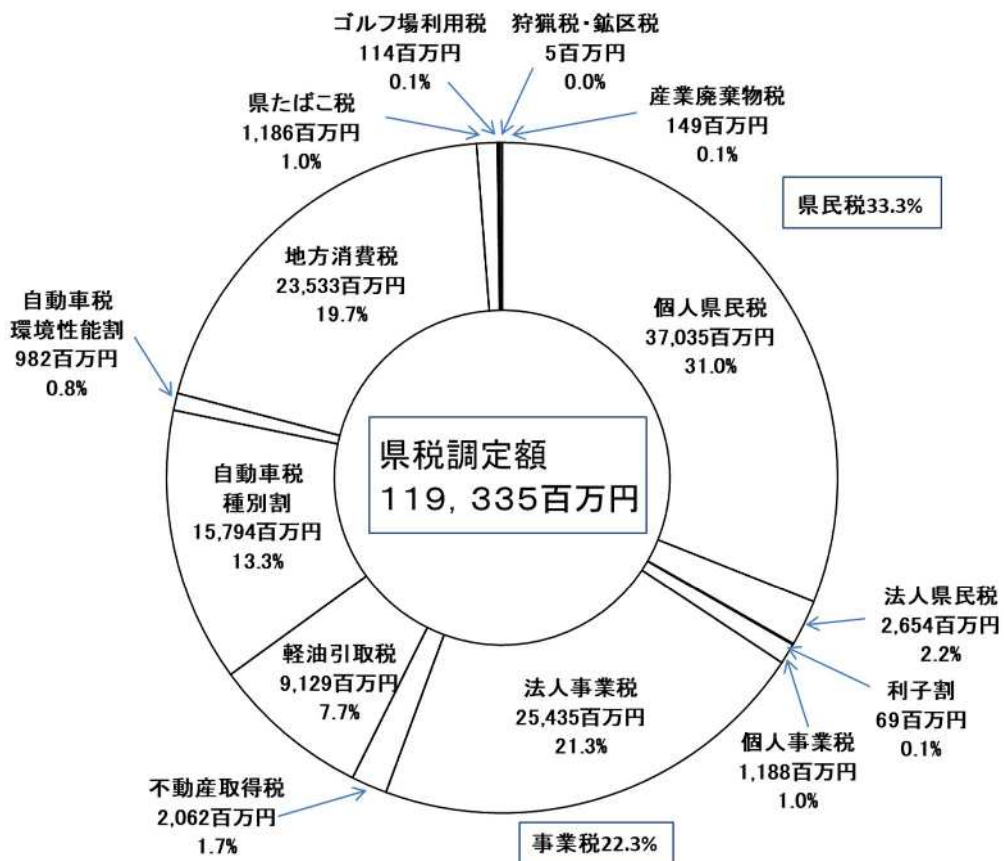
14 県税の状況

◇県税の状況（現年度分 税目別 令和5年3月31日現在）

・ 置賜総合支庁分



・ 全県分



15 置賜地域各市町の行財政と将来ビジョン

【米沢市】

先人たちが育んできた豊かな精神文化を継承・向上させるとともに、学園都市が持つ機能を最大限活かして、未知なるものへの果敢な挑戦を行い、それが創造を生み、そしてまた新たな創造につながるといった連鎖を起こすことにより、ひと（市民）が輝くまちを目指す。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	50,406	48,954	1,453	1,364	87.1	40,150	7.8	20,987	0.58
当初予算額（一般）			令和5年度		令和4年度		前年度対比		
			40,620		40,790		-0.42		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○米沢市まちづくり総合計画基本構想・基本計画（平成27年9月29日議決、計画期間：平成28～令和7年度）市の将来像を「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢」と定め、その実現のために次の6項目を基本目標として設定している。

- ① 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり
- ② 郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり
- ③ 子育てと健康長寿を支えるまちづくり
- ④ 自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり
- ⑤ 安全安心に暮らせるまちづくり
- ⑥ 持続可能なまちづくり（協働・行政経営）

【令和5年度の行政方針】

米沢市まちづくり総合計画第4期実施計画の2年目となる令和5年度は、実施計画に掲げた施策を着実に推進するほか、SDGs未来都市として、本市の誇るべき地域資源を最大限に活用し、全ての「ひと」が安心して住み続け、関わり合い、つながりながら発展していく持続可能なまちを目指す。

特に、今年度は、屋内遊戯場を併設した子育て世代活動支援センターが開館するとともに、三友堂病院と一体的な建設を進めてきた米沢市立病院が開院する。また、若い世代を始めとする人材育成の取組として、新たに「地域づくり人(じん)育成塾」を実施するほか、「最上川源流よねざわ紅花プロジェクト」や「米沢市版DMO推進事業」を継続し、まちに活気と活力を創出する。さらに、(仮称)南西中学校の整備や広幡、塩井コミュニティセンターの建替を進め、持続可能な行政経営を推進する。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	病院建設事業	H30～	6,694※	※令和5年度事業費
	子育て世代活動支援センター整備事業	R2～	391※	
	SDGs推進事業	R3～	6※	
	米沢市版DMO推進事業	R4～	126※	
	(仮称)南西中学校施設整備事業	R4～	175※	
実施予定	地域づくり人育成塾の実施	R5～	3※	
	広幡、塩井コミュニティセンター建替事業	R5～	120※	
	統合型GIS整備事業	R5～	61※	

【長井市】

市民と行政が互いに協力し合いながら、本市の未来を共に考え、今ある豊かな自然・文化、産業、人と人とのつながりなどをしっかりと守り、未来に向かって育てていくことによって、市民が幸せを感じながら暮らせるまちを目指している。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	20,508	19,800	708	615	84.0	23,112	10.9	8,367	0.44
当初予算額（一般）			令和5年度		令和4年度		前年度対比		
			18,684		18,000		+3.8		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○長井市第五次総合計画（平成26年3月24日議決、計画期間：平成26～35年度）に掲げる「長井の豊かな自然環境や文化を未来につないでいく」・「市民と行政がともにまちづくりに取り組む」・「市民がしあわせを感じられるまちを創る」の3つの基本理念に基づき、長井市の将来像である「みんなで創る しあわせに暮らせるまち 長井」を実現するために8つの基本目標を定めている。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ① 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり | ⑤ 住みやすく魅力あふれるまちづくり |
| ② 未来を担う心豊かな子どもが育つまちづくり | ⑥ みんなで築く安全・安心なまちづくり |
| ③ 心豊かで元気に活動できるまちづくり | ⑦ 市民と行政が一体となった協働によるまちづくり |
| ④ 資源を活かし活力を生み出すまちづくり | ⑧ 市民と共に未来を創る体制づくり |

【令和5年度の行政方針】

長井市第五次総合計画をまちづくりの指針とし、急速に進む人口減少、社会情勢の変化に対応するため、引き続き「第2期長井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた施策により課題に取り組む。

また、令和5年度は、多様な立場の人が認め合い、支えあう地域の実現に取り組むこと、持続可能な長井市の実現に取り組むことを市政運営の基本的な考え方とし、デジタル技術を活用し地域課題を解決する「スマートシティ長井実現事業」のほか、グリーントランスフォーメーションの取り組みやダイバーシティ（多様性）・インクルージョン（包括）の推進等により持続可能なまちづくりを目指した事業を展開していく。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	公共施設等活用事業	R4～	30※	※令和5年度事業費事業拡充
	遊びと学びの交流施設関連事業	R5	159※	
	公共複合施設屋外遊具整備工事事業	R5	50※	
	旧本庁舎跡地活用事業	R5	100※	
	スマートシティ長井実現事業	R3～	172※	
	魅力ある地域づくり事業	R5	100※	事業拡充
	国内外都市交流推進事業	R5	49※	事業拡充
	学童クラブ施設改修等工事事業	R5	13※	

【南陽市】

あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができる社会を実現するため、ひと、もの、活動等のあらゆる地域資源をつないで、新たな価値の創造を目指します。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	19,419	18,221	1,198	1,186	88.2	15,465	12.0	8,557	0.48
当初予算額（一般）			令和5年度		令和4年度		前年度対比		
			16,922		15,930		6.2		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○第6次南陽市総合計画（令和3年3月策定 令和3年度～令和12年度）

将来都市像を「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」とし、実現のために1つの横断的目標と7つの基本目標を設定している。

（横断的目標）

新たな日常（ニューノーマル）の構築

（前期基本計画の目標）

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①健やかで安心な暮らし・子育てを実現する | ②地域に根差した人材を育てる |
| ③力強い産業の基盤をつくる | ④強くてしなやかなまち・住みよいまちをつくる |
| ⑤自然の豊かさを守る | ⑥人がつながりまちを育てる |
| ⑦発信力のあるまちづくりを進める | |

【令和5年度の行政方針】

第6次南陽市総合計画の将来都市像「つながり つどう 縁結ぶまち 南陽」を基本姿勢に、令和5年度施政の骨格である「子どもを産み育てやすいまち」「年をとっても安心して暮らせるまち」「人が集まり賑わいのあるまち」の実現に向け、各事業を展開します。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	3人っ子ハッピーサポート事業	H27～	21 ※	※令和5年度事業費
	安全安心生活排水路整備事業 (浸水対策)	H27～	29 ※	
	学校・家庭・地域の連携協働推進事業 (放課後子ども教室等)	H28～	36 ※	
	ラーメン課R&Rプロジェクト推進事業	H28～	1 ※	
	ワイン振興支援事業	H29～	4 ※	
	地域交通総合対策事業	H30～	3 ※	
	都市公園長寿命化対策支援事業	H30～	45 ※	
	宮内地区交流センター整備事業	R4～	590 ※	
実施予定	南陽市自分ごと化会議事業	R5	3 ※	
	書かない・待たない・行かなくてもすむ 市役所の推進事業	R5	67 ※	
	児童福祉総務一般事務（子どもの居場所 支援臨時特例事業）	R5	9 ※	
	南陽みらい議会プロジェクト	R5	1 ※	

【高島町】

高島町町民憲章及び第6次高島町総合計画に基づき、これまでに築いてきた伝統と基盤を大切にしながら、同時に新しい時代の価値を積極的に創造し、生き生きと躍動する町、心の通い合うまちづくりを目指している。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	13,255	12,474	780	760	87.3	13,183	10.6	6,977	0.40
当初予算額（一般）			令和5年度		令和4年度		前年度対比		
			12,640		11,040		+14.5		

2 行政方針

【長期計画における目標】

第6次高島町総合計画（平成30年12月基本構想議決、計画期間：平成31～令和10年度）

目指す町の将来像を、笑顔があふれ幸せを感じている心のありようや、人と人が地域の中でつながっている『ゆきかう「またね∞」 あふれる「うふふ∞」』とし、今も未来も一人ひとりが「しあわせ」を感じられる持続可能なまちづくりの実現に向けて28の基本目標を設定している。

【令和5年度の行政方針】

第6次高島町総合計画が5年目を迎えたことから、前期計画の進捗状況等の検証を行うとともに、重要度・優先度の高い施策等については積極的に事業展開を加速させ、目標の実現に向けて施策に取り組んでいく。

◆主要（重点）施策

- ①人が元気なまちづくり
- ②産業が元気なまちづくり
- ③安全・安心なまちづくり
- ④効率的な行財政運営

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	放課後児童クラブ事業	R3～	92※	※令和5年度事業費
	ひとり親家庭等生活支援事業	H29～	4※	
	スマートIC整備事業	R3～	206※	
	新庁舎建設事業	R1～	1,791※	
	リーダー経営人財育成塾事業	R4～	10※	
	病児保育事業	R4～	11※	
	地区公民館再エネ・脱炭素改修工事	R5～	14※	
	フォーチュンタウン駅西助成事業	R5～	11※	
	新規就農者支援関連事業	R5～	49※	
	起業・創業ビジネスセミナー事業	R5～	1※	
	学校給食費負担軽減事業等	R5～	11※	

【川西町】

全ての町民、事業者、各種団体と町が、地域社会の課題の解決を図るため、それぞれの自覚と責任の下に情報を共有しながらその立場や特性を尊重し協力して取り組む「協働」の基本理念を踏まえ、老・若・子・男・女それぞれの主体の関係を深めながら「共」に新しい時代に「挑戦」・「創造」し、まちづくりを発展させる「共創」によって「協働のまちづくり」をさらに充実、成熟させる必要があることから、まちづくりのテーマを「協働」そして「共創へ」としてまちづくりを進めています。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	12,410	11,947	463	297	91.5	14,250	12.0	6,893	0.25
当初予算額（一般）			令和5年度		令和4年度		前年度対比		
			11,354		11,349		+0.04		

2 行政方針

【長期計画における目標】

〇かわにし未来ビジョン（第5次川西町総合計画基本構想（平成27年12月議決、構想期間：平成28年度～令和7年度））

町の将来像を「緑と愛と丘のあるまち」とし、基本目標である「夢と愛を未来につなぐまち」の達成に向けて、3つの分野別目標を設定し共創による協働のまちづくりを展開する。

- ① 「集まる」まちをつくる（ひとづくり）
- ② 「楽しい」まちをつくる（ちいきづくり）
- ③ 「挑戦する」まちをつくる（しごとづくり）

【令和5年度の行政方針】

かわにし未来ビジョン（第5次川西町総合計画後期基本計画）及び川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：令和3年度～令和7年度）におけるリーディングプロジェクト並びに5つのプロジェクトを重点的に推進する。

◆主要プロジェクト

- ① 地域経済活性化プロジェクト
- ② 移住・定住・交流促進プロジェクト
- ③ 男女共同参画推進プロジェクト
- ④ 町民総活躍プロジェクト
- ⑤ 安心して暮らせるまちづくりプロジェクト

◆リーディングプロジェクト

メディカルタウン整備推進プロジェクト

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	子育て支援医療事業	H24～	54 ※	※令和5年度事業費
	定住住宅支援事業	R3～	5 ※	
	メディカルタウン整備事業	H28～	16 ※	
	地域振興拠点施設整備事業	R4～	183 ※	
	町有牛貸付管理事業	S56～	78 ※	
	有機農業産地づくり推進緊急対策事業	R4～	8 ※	
	再生可能エネルギー利活用事業	R4～	15 ※	
実施予定	中小松菊田線幅広路肩設置事業	R5～	26 ※	
	フレンドリープラザ開館30周年事業	R5～	15 ※	

【小国町】

小国町の特性である美しく豊かな自然と、文化性を重んずる町の人々との深いかわりによって育まれてきた独自の生活文化、生活技術、すなわちふな文化の継承をまちづくりの根底に据え、さらに新しいふな文化の創造と伝承に向けて、多様な人々の「協働と交流と連携」によるまちづくりを展開している。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財力指数
	7,981	7,508	473	473	81.2	7,880	12.4	4,432	0.26
当初予算額（一般）			令和4年度		令和3年度		前年度対比		
			6,108		6,115		-0.1		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○第5次小国町総合計画 基本構想（平成31年3月議決、構想期間2019～2025年度）

「自然を愉しみ みんながわくわくする 白い森の国おぐに」をめざすべき姿とし、次の4つ基本構想の柱を基軸に、各種まちづくりを展開している。

- ① 白い森の国を担う「人」づくり
- ② 白い森の魅力を磨く「環境」づくり
- ③ 白い森を舞台とする生き活きとした「暮らし」づくり
- ④ 持続可能な行財政運営

【令和5年度の行政方針】

地方自治体を取り巻く環境や国・県の政策動向を捉えながら、「白い森まるごとブランド構想」の実現を目指し、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「町民の意見を聞くこと」という視点から、「みんなが輝いている小国町」を展望した施策を展開していく。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	白い森みらい創生事業	H29～	28 ※	※令和5年度事業費
	保小中高一貫教育支援事業	H29～	37 ※	
	地域づくり支援員導入事業 (地域おこし協力隊の受け入れ)	H27～	9 ※	
	移住・定住促進事業	H28～	9 ※	
	道の駅機能拡充事業	H30～	6 ※	
	ワカモノプロジェクト推進事業	R2～	1 ※	
	小国高校県外募集支援事業、留学生受入事業等	R2～	30 ※	
	次期総合センター建設事業	H26～	250 ※	
	歴史民俗資料館整備事業	R4～	14 ※	
	森林サービス産業創出事業	R4～	10 ※	

【白鷹町】

心豊かな「潤い」を源流として、人と人、人と地域、そして地域と地域とが、多様な形でつながり、生み出す新たな「対流」を的確に捉え、地域外に住みながらこの地域に関わっていく関係人口の増加や、これまでにない広域的な市町村連携を促進しながら、町民一人一人が生き生きと活躍し輝く、未来につながるまちをめざします。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3年度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	10,692	9,652	1,040	894	86.8	11,917	9.3	5,237	0.28
当初予算額（一般）			令和5年度		令和4年度		前年度対比		
			8,710		8,450		+3.08		

2 行政方針

【長期計画における目標】

○第6次白鷹町総合計画（基本構想…平成31年3月策定、構想期間：令和2～11年度）

まちづくりの理念として「共創のまちづくり」を掲げつつ、次の4つの基本目標を定め、まちづくりを推進します。

1. 豊かな自然に包まれ、だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる「まち」づくり
2. 夢を持ち郷土を愛する「ひと」づくり
3. 地域資源を活かし、魅力と活力にあふれる「しごと」づくり
4. 地域の個性を磨き、「連携する」まちづくり

将来像 人、そして地域がつながり 輝き続ける 潤いのまち

【令和5年度の行政方針】

中央拠点と各地域拠点とを相互につなぐコンパクト+ネットワークによるまちづくりの考え方を基本に、人材確保、脱炭素化の実現、DXの推進の視点をもって、「人づくり」「産業・経済」「地域力」「定住化」の4つの分野を施策の柱として着実に進め、暮らし・社会・経済が統合する持続可能な社会を目指すこととしています。特に、人口減少緊急対策として、住環境の整備などによる本町版「職住育近接」を実現することで、子育て世代の転出抑制および移住促進により、定住人口を確保していきます。

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施予定	保育料等無償化事業	R4～	61	
	子育て支援&若者定住促進住宅整備事業	R4～	35	
	地域防災対策事業	R5	3	
	森林デジタル管理推進対策事業	R5	49	
	デマンド型交通運行事業	R4～	18	
	地域人材ベースキャンプ設立事業	R5	10	
	省エネ住宅促進事業	R5	2	
	介護人材確保事業	R5	3	
	スクールバス導入事業	R5	96	
	集落支援員事業	R5	13	
	森林・林業再生事業	R4～	4	
	荒砥高等学校魅力化推進事業	R4～	11	

【飯豊町】

豊かな自然環境や農山村の歴史と文化を礎とした地域のすばらしいものにこだわりを持ち、地域資源を活用した新たな産業おこしなど、町民自身の自信や誇りにつながるまちづくり、そして、この地域資源を未来ある子どもたちへ継承するまちづくりを目指します。

1 財政の状況

(単位：百万円、%)

3度 決算	歳入	歳出	形式収支	実質収支	経常収支比率	地方債現在高	実質公債費比率	標準財政規模	財政力指数
	7,674	7,202	472	420	85.6	10,586	12.0	4,138	0.19
当初予算額（一般）			令和5年度		令和4年度		前年度対比		
			8,061		6,635		-21.5		

2 行政方針

【長期計画における目標】

第5次飯豊町総合計画（令和3年3月4日議決、計画期間：令和3～令和12年度）

基本理念に「やっぱり、飯豊で幸せになる」、町が目指す将来像に「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」を掲げ、まちづくりの原点である「住民主体のまちづくり」「手づくりのまち いいで」を継承し、国際的なテーマであるSDGsの17のゴールを意識しながら、町民と行政、多様な主体との協働による持続可能なまちづくりを推進していきます。

＜施策の大綱＞

- ①人をはぐくむまち ②世代をつなぐまち ③縁をつむぐまち
- ④郷土をたがやすまち ⑤可能性をひらくまち

【令和5年度の行政方針】

令和4年度8月に発生した大雨災害からの復旧と復興に重点を置き、災害復興元年と位置付けて災害復興に全力で取り組みます。また、令和5年度は町政施行65周年の年でもあり、第5次飯豊町総合計画に掲げる10の重点プロジェクトを中心に、「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」の実現に向け、引き続きフロンティア精神で小さな町からの挑戦を続けます。

＜重点プロジェクト＞

- ①住民主体と協働によるまちづくり ②起業・協働による仕事づくり ③電池バレー構想の展開
- ④デジタル化の推進 ⑤美しい田園景観をみんなで未来に残そう ⑥多極分散・循環型社会の実現
- ⑦農の未来事業の推進 ⑧いいでの子大したもんだプロジェクトの推進 ⑨いいで田園ルネサンス
- ⑩住民が輝き、職員も輝く

3 主要プロジェクト

区分	プロジェクト名	事業期間	総事業費 (百万円)	備考
実施中	令和4年8月豪雨災害復旧事業	R5～	1,531※	※令和5年度事業費
	町民総合センター「あ～す」改修事業	R4～R5	511※	
	移住定住促進事業	H26～	18※	
	家庭保育支援事業	R5～	3※	
	いいで農村未来研究所運営事業	R4～	1.1※	
	森づくり支援・森林整備事業	R4～	25※	
	農地利用の最適化に関する地域計画策定事業	R5	3.5	
	学校・家庭・地域の連携協働推進事業	R5～	7※	
	豪雪地帯安全確保緊急対策事業	R4～R5	6.5※	
	消雪設備改修事業	R5	34	

16 地域指定

◇地域指定の状況

指定区分 (関係法令)	米 沢 市	長 井 市	南 陽 市	高 畠 町	川 西 町	小 国 町	白 鷹 町	飯 豊 町
特別豪雪地帯 (豪雪地帯対策特別措置法)	○	○	○	○	○	○	○	○
過疎地域 (過疎地域自立促進特別措置法)					○	○	○	○
振興山村地域 (山村振興法)	△		△	△	△	○	△	△
辺地を有する市町 (辺地に係る公共的施設の総合整備のた めの財政上の特別措置等に関する法律)	○			○	○	○	○	○
電源地域 (発電用施設周辺地域整備法)		○				○	○	○
水源地域 (水源地域対策特別措置法)						○		
地方拠点都市地域 (地方拠点都市地域の整備及び産業業務 施設の再配置の促進に関する法律)	○	○	○	○	○	○	○	○
特定農山村地域 (特定農山村地域における農林業等の活 性化のための基盤整備の促進に関する法 律)	○	△	△	△	△	○	△	○
地域未来投資促進地域 (地域経済牽引事業の促進による地域の 成長発展の基盤強化に関する法律)	○	○	○	○	○	○	○	○

注：△は、一部指定

資料：山形縣市町村概要（令和4年刊）

17 置賜地域の市町一覧

◇置賜地域の市町一覧（令和5年5月31日現在）

	米沢市	長井市	南陽市
所在地	米沢市金池五丁目2番25号	長井市栄町1番1号	南陽市三間通436番地の1
郵便番号	992-8501	993-8601	999-2292
電話番号	0238-22-5111	0238-84-2111	0238-40-3211
FAX番号	0238-22-0498	0238-83-1070	0238-40-3242
市長 (任期満了日)	中川 勝 (R5. 12. 21) 2期目	内谷 重治 (R8. 12. 14) 5期目	白岩 孝夫 (R8. 7. 29) 3期目
副市長 (任期満了日)	大河原 真樹 (R6. 3. 31) 1期目	齋藤 環樹 (R7. 3. 31) 1期目	大沼 豊広 (R8. 12. 31) 3期目
議員定数 (任期満了日)	24人 (R9. 4. 30)	16人 (R9. 5. 4)	17人 (R6. 3. 31)
議会議長	相田 克平	鈴木 富美子	船山 利美
議会副議長	堤 郁雄	金子 豊美	梅川 信治

	高畠町	川西町	小国町
所在地	高畠町大字高畠436番地	川西町大字上小松977番地1	小国町大字小国小坂町二丁目70番地
郵便番号	992-0392	999-0193	999-1363
電話番号	0238-52-1111	0238-42-2111	0238-62-2111
FAX番号	0238-52-1543	0238-42-2724	0238-62-5464
町長 (任期満了日)	高梨 忠博 (R8. 4. 23) 1期目	原田 俊二 (R6. 4. 28) 5期目	仁科 洋一 (R6. 8. 1) 2期目
副町長 (任期満了日)	深瀬 吉弘 (R9. 1. 31) 1期目	鈴木 清隆 (R8. 9. 30) 1期目	阿部 英明 (R6. 12. 31) 1期目
議員定数 (任期満了日)	15人 (R5. 8. 31)	13人 (R9. 4. 30)	10人 (R9. 4. 29)
議会議長	近野 誠	井上 晃一	安部 春美
議会副議長	佐藤 仁一	伊藤 進	遠藤 和彦

	白鷹町	飯豊町
所在地	白鷹町大字荒砥甲833番地	飯豊町大字椿2888番地
郵便番号	992-0892	999-0696
電話番号	0238-85-2111	0238-72-2111
FAX番号	0238-85-2128	0238-72-3827
町長 (任期満了日)	佐藤 誠七 (R6. 10. 25) 4期目	後藤 幸平 (R6. 11. 6) 4期目
副町長 (任期満了日)	田宮 修 (R8. 3. 31) 1期目	高橋 弘之 (R8. 3. 31) 1期目
議員定数 (任期満了日)	12人 (R9. 4. 30)	10人 (R5. 8. 5)
議会議長	菅原 隆男	菅野 富士雄
議会副議長	関 千鶴子	古山 繁巳

18 第4次山形県総合発展計画 置賜地域の発展方向（概要）

1 置賜地域の発展方向（目指す姿）

- 地域の技術力を結集したイノベーションにより新たな価値が創出され、ブランド力を活かして産業の収益力が向上している。
- 「人生100年時代」の到来に向け、多様な主体と連携した健康づくり活動拠点の形成が進み、誰もがいきいきと活躍できる地域づくりの取組みが進展している。
- 宮城・福島両県や関東・首都圏との近接性を活かした「県南ゲートウェイ」としての発展基盤の確立に向け、交通アクセスの強化が進展している。

2 地域の発展に向けた主な取組み

(i) 「置賜」地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化

- 地域の基幹産業である製造業の競争力強化に向けた新たな強みや特色の創出を促し、ものづくり企業間のネットワーク強化や産学官金の連携により地域の稼ぐ力を向上していく。
- 園芸作物や米沢牛等のブランド力強化、道の駅など観光分野との連携強化により、「農と食」の魅力を高め、これを支える収益性の高い産地を形成していく。
- 置賜地域を彩る「花々」や米沢牛・地酒・ワインなどの「美食・美酒」、冬の魅力としての「雪」など、置賜ならではの資源を戦略的に活用した誘客の促進とインバウンドの拡大を推進していく。

(ii) 「置賜」の持続的発展を支える、活力あふれる地域社会の形成

- 市町との連携による広域的な結婚支援活動を展開するほか、妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制を充実させていく。
- 米沢栄養大学をはじめ多様な主体と連携・協働しながら、高齢者はもとより幅広い世代が住み慣れた地域で、健康かつ安心して暮らせるための取組みを推進していく。
- 若者と地域の活躍人(びと)、UIターン者との交流の機会を提供するなど、置賜に対する愛着と誇りを醸成し、互いに輝きあう地域づくりを推進していく。

(iii) 人々の交流で賑わう「置賜」を支え、地域の価値を高める社会基盤の形成

- 新潟山形南部連絡道路の早期整備に向け、隣県等との連携を強化するとともに、一般国道287号米沢長井道路の整備を進め、置賜地域の高速交通ネットワークを充実、強化していく。
- フラワー長井線など地域公共交通の充実を図り、住民の利便性を向上させるとともに、関係交流人口の創出・拡大を加速していく。
- 置賜の地域資源を活かした風力発電やバイオマスなど再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会の形成を推進していく。

